

ナシ中世以降兵權武門ニ歸シ兵農始テ分レ
 遂ニ封建ノ治ヲ成ス戊辰ノ一新ハ實ニ千有
 餘年來ノ一大變革ナリ此際ニ當リ海陸兵制
 モ亦時ニ從ヒ宜ヲ制セサルヘカラス今本邦
 古昔ノ制ニ基キ海外各國ノ式ヲ斟酌シ全國
 募兵ノ法ヲ設ケ國家保護ノ基ヲ立ント欲ス
 汝百官有司厚ク朕カ意ヲ體シ普ク之ヲ全國
 ニ告諭セヨ

明治五年壬申十一月廿八日

徵兵告諭

我

朝上古ノ制海内舉テ兵ナラサルハナシ有事ノ日
 天子之カ元帥トナリ丁壯兵役ニ堪ユル者ヲ募リ
 以テ不服ヲ征ス役ヲ解キ家ニ歸レハ農タリ工
 リ又商賈タリ固ヨリ後世ノ雙刀ヲ帶ヒ武士ト稱
 シ抗顔坐食シ甚レキニ至テハ人ヲ殺シ官其罪ヲ
 問ハサル者ノ如キニ非ス抑 神武天皇珍彦ヲ以
 テ葛城ノ國造トナセシヨリ爾後軍國ヲ設ケ衛士
 防人ノ制ヲ定メ神龜天平ノ際ニ至リ六府二鎮ノ
 設ケ始テ備ヘ保元平治以後朝綱頹弛兵權終ニ武
 門ノ手ニ墜テ國ハ封建ノ勢ヲ爲シ人ハ兵農ノ別
 ヲ爲ス降テ後世ニ至リ名分全ク泯沒シ其弊勝テ

言フ可カラズ然ルニ太政維新列藩版圖ヲ奉還シ
 辛未ノ歲ニ及ヒ遠ク郡縣ノ古ニ復ス世襲坐食ノ
 士ハ其祿ヲ減シ刀劔ヲ脫スルヲ許シ四民漸ク自
 由ノ權ヲ得セシメトス是レ上下ヲ平均シ人權
 ナ齊一ニスル道ニ則チ兵農ヲ合一ニスル基ナ
 リ是ニ於テ士ハ從前ノ士ニ非ス民ハ從前ノ民ニ
 アラス均シク皇國一般ノ民ニシテ國ニ報スルノ道
 モ固ヨリ其別ナカルヘシ凡ソ天地ノ間一事一物
 トシテ稅アラサルハナシ以テ國用ニ充ツ然ラハ
 則チ人タルモノ固ヨリ心力ヲ盡シ國ニ報セサル
 ヘカラス西人之ヲ稱シテ血稅ト云フ其生血ヲ以
 テ國ニ報スルノ謂ナリ且ツ國家ニ災害アレハ人

々其災害ノ一分ヲ受サルヲ得ズ是故ニ人々心力
 ヲ盡シ國家ノ災害ヲ防クハ則チ自己ノ災害ヲ防
 グノ基タルヲ知ルヘシ苟モ國アレハ則チ兵備ア
 リ兵備アレハ則チ人々其役ニ就カサルヲ得ズ是
 ニ由テ之ヲ觀レハ民兵ノ法タル固ヨリ天然ノ理
 ニシテ偶然作意ノ法ニ非ス然而シテ其制ノ如キハ
 古今ヲ斟酌シ時ト宜ヲ制セサルヘカラス西洋諸
 國數百年來研究實踐以テ兵制ヲ定ム故チ以テ其
 法極メテ精密ナリ然レトモ政體地理ノ異ナル悉
 シ之ヲ用フ可カラズ故ニ今其長スル所ヲ取リ古
 昔ノ軍制ヲ補ヒ海陸二軍ヲ備ヘ全國四民男兒二
 十歳ニ至ル者ハ盡ク兵籍ニ編入レ以テ緩急ノ用

ニ備フヘシ郷長里正厚シ此ノ御趣意ヲ奉シ徵兵
令ニ依リ民庶ヲ説諭シ國家保護ノ大本ヲ知ラシ
ムヘキモノ也

明治五年壬申十一月廿八日

太政官

○番外(七年七月四日諭達)

徵兵ハ國家ノ大典忽ニスヘカヲモルナリ古今宇
內文化大ニ開ケ各國通交往來貿易ス此際ニ當リ
一度兵備ヲ弛ムル他ノ侮ヲ受ルヲ免レス我邦忠
孝ヲ以テ國體トシ賢ヲ舉ケ能ヲ使ヒ廣ク各國ノ
所長ヲ取リ以テ我カ所短ヲ補ヒ内ニ施スニ良政
ヲ以テシ外ニ交ルニ信義ヲ以テシ卓爾トシテ亞
細亞ノ東方ニ獨立ス豈ニ外侮ノ憂アラシヤ然ル

ニ物變ナキ能ハズ幾日己ニ佐賀ノ叛アリ今又台
灣ノ征アリ嗚呼内外兵備ノ闕クヘカラサル今日
ノ如キアラズ是レ徵兵ノ己ムヲ得サル所以ナリ
戊辰ノニ新舊習ヲ洗除シ武士ナル者皆其職ヲ解
ク是於テ士民始テ合ニス是レ兵ヲ徵スルハ全國
ニ般ヲ要スル所以且國家ニ災害アル人々其災害
ノ一分ヲ蒙ルヲ得ス故ニ人民兵士トナリテ
國家ヲ保護スルハ即チ自己ノ家ヲ保護スルナリ
況ヤ

皇國ニ稟生シ

皇統運綿萬古不易ノ

皇上ヲ仰キ其壤土ヲ愛シ其恩澤ヲ被ル者多少必

報國ノ志念アルニ於テヤ汝等幸ニシテ身體強
 健徵兵署ニ於テ辱ク徵兵使ノ撰ニ遇ヒ自今三季
 青森營所ニ於テ兵役ニツキ國家保護ノ任ニ當ラ
 ノトス慎哉夫レ人ノ萬物ニ靈タル忠孝アルヲ以
 テナリ忠ハ其國其君ノ爲メニ己レノ心力ヲ盡シ
 以テ其思ニ報スル是ナリ孝ハ善ク父母ニ事フル
 ノ謂ヒ宦父母ニ事フルノミナラス能ク身ヲ立テ
 以テ父母ヲ顯ハス是ナリ然レテ後始テ之ヲ人ト
 謂フヘキノミ汝等營所ニ至テハ慎テ陸軍ノ規則
 ナ奉シ演武ノ際敗テ或ハ怠ルテ勿レ色ニ迷フ勿
 レ酒ニ耽ル勿レ演武ノ餘力アルヲ致テ斯ノ文ニ從
 事シ常ニ忠義ノ肝膽ヲ磨シ有事ノ日一死以テ國

恩ニ報スル之ノ思ヒ如斯コシテ己マサル枝日ニ
 進ミ才月ニ長シ身ヲ立家ヲ起スニ於テ何ニカア
 ラン汝等兄弟姉妹アリ父母ニ膝ニ事フルニ於テ
 裕カニ足レリ汝等ハ則チ父母ヲ顯ハス亦善カラ
 スヤ冀クハ自今奮發忠孝ヲ兩全シ以テ天地間萬
 物ノ靈ニ愧チサルノ人物ヲランテ

○第二十六號(十年二月十日布達)

兵役ハ國ノ大事人民必ス服セサルヘカラサルノ
 義務ニ候處御趣意未タ全ク通曉セス徵募ノ際動
 ヲスレハ遠カニ分家或ハ養子ト爲リ又ハ廢家ノ
 苗跡ヲ冒シ甚シキハ自ラ其支體ヲ折傷スル等ヲ
 以テ百方規避スル者有之夫カ爲メ遂ニ徵員ノ不

足ヲ生スルコ至リ不都合少カラス今後一層精密
注意人民エ丁寧説諭シ規避ノ念ヲ防候様今般公
達モ有之付壬申十一月告諭 徵兵令之趣ヲ體認
シ故ラ免除ヲ謀リ不測ノ罪ヲ蒙ル候等ノ所行
無之様可致此旨布達候事

○乙第二十三號(十二年一月十一日達)

郡役所

國民軍名簿中出入死没等ハ其都度筆削ヲ加ヘ置
候様可致此旨相達候事

但自今新制之節ハ所用之界紙可下渡候事

○乙第九十八號(十五年八月十七日達)

郡役所、戶長役場

徵兵入費定則本年(三月)陸軍省達甲第六号ヲ以改
正相成候ニ付別冊之通更正候條此旨相達候事
(別冊)

徵兵旅費規則

第一條 郡區徵兵事務官并徵兵ニ付添戶長或ハ
郡書記等之旅費ハ總テ本年當縣乙第九十四
號達地方費旅費定則ニヨリ支給スヘシ
第二條 入營之節徵兵ニ付添戶長或ハ郡書記等
之旅費ハ官ヨリ給スヘシ
第三條 郡區徵兵事務官并徵兵ニ付添戶長檢査
所及抽籤場等ニ往復之旅費ハ地方費ヲ以テ支
辨スヘシ

第四條 検査所抽籤場ニ於テ事務ノ都合ニ因リ
用係等ヲ以テ長代務付添テ命スルモノハ戸長
相當ノ旅費ヲ支給スヘシ

第五條 徴兵各自居住之町村ヨリ検査所及徴兵
署等ニ往復之旅費ハ十里詰日當金三十錢若シ
同所ニ滞在セシムルハ日當金二十八錢官ニ
給スヘシ但下検査所ニ往復ノ旅費ハ地方費
ヲ以テ支辨スヘシ

第六條 前條徴兵旅費近方片道三里未滿ハ之ヲ
給セス若シ一泊セシムルハ三里以上六里未
滿ハ日當之半數往復ニテ全數若シ一泊セシム
ルハ日當之半數往復ニテ全數ヲ給スヘシ未滿
六里以上十一里未滿ハ一日分ノ日當ヲ給ス

第七條 徴兵検査所ニ直ニ抽籤場ニ至ル者
甲乙丙ノ里程ヲ通計シ發町村迄ハ第五條之旅
費ヲ給スヘシ若シ旅費日當數現日數ヨリ不足
スルハ許シ余ル日數ニ對シ滞在日當ヲ給スヘシ

第八條 免役料上納ノ者或ハ除役免役又ハ徴集
猶豫相當ノ者ニシテ徴兵令第六十一條ノ屆書
ヲ爲スニ當リ其手續ヲ爲サス検査所又ハ抽籤
場ニ申立除役免役又ハ徴集猶豫ニ屬スル者ノ

旅費并滞在日當ハ給セス但申立中處分未済ニ
 ヲテ一旦歸村スル者モ處分済マテハ本條ニ準
 ス
 第九條 檢丁之父兄不礙疾等ヲ檢査所或ハ抽籤場
 ニ呼出スルハ第五條又ハ第六條之旅費及滞在
 日當ヲ給スヘシ
 但檢丁癩疾不具等ニシテ付添人ヲ要セザレ
 ば徴兵場或ハ檢査所ニ出頭シ難キ者ハ其付
 添人ノ旅費并滞在日當亦本條之例ニ準ス
 第十條 徴兵入營ノ旅費ハ十里詰日當金四十錢
 十里以外ノ端里數一里以テ官ヨリ給スヘシ但
 上方十一里未滿ノ旅費并滞在日當ハ第五條及

第六條ニ準スヘシ

第十一條 徴兵入營及檢査抽籤ノ節途中川留雪
 支又島嶼ノ者船待及病氣等ニテ延滞ノ時其地
 方長ノ證書及醫師之診斷書アル者ハ滞在日當
 ヲ給ス且疾病足痛等ニテ步行シ難キ者ハ醫師
 ノ診斷書及通運會社等ノ受取證書ヲ添テ申出
 ルルハ其車駕賃ヲ給スヘシ尤藥價診察料等ハ
 自辨スヘシ
 但檢丁ノ父兄母不礙疾等ヲ檢査所及抽籤場ニ
 呼出スルモ亦本條ニ同シ
 第十二條 前各條徴兵旅費請取方ハ付添戸長ニ
 限リ徴兵町村名及里程ヲ詳記セル人別書ヲ附

製、本縣徵兵事務官ノ檢印ヲ受ケ明細表ニ添
、會計課或ハ同課出張官員ニ受取方申出ヘシ
但本條明細表編製方ハ明治十年(二月)本縣第
四十五號達ノ通リニ依リテハ

○乙第三百七十一號(十六年十二月三日達)

郡役所

郡長ニ於テ徵兵事務官ノ職務ニ付旅行スル場合
ト雖該旅費ハ本年第七號公布ニ依リ十六年度以
降官給候儀ト可相心得此旨相達候事

○乙第五十四號(十七年二月十九日達)

郡役所、戶長役場

明治十五年(八月)本縣乙第百九拾八號達徵兵入費

定則中左ノ通改正追加候條此旨相達候事

徵兵旅費規則

第一條及第三條中(郡區徵兵事務官并)ノ八字ヲ刪

第二條入營ノ節ノ上ニ「郡徵兵事務官并徵兵」ノ九
字ヲ置キ下(徵兵)ノ二字ヲ削ル

追加但郡徵兵事務官事故アリテ書記ナレバ

代理セシムルハ第一條及第三條ニ準

ス

第四條中(用掛)ヲ「戶長役場筆生」ト後ノ(戶長)ヲ「身分
ト改ム

第十條徵兵入營ノ旅費ハ十里詰日當金四拾錢十
里

以外ノ端里數一里以上滞在日當金貳拾八錢ノ官
六里未滿ハ日當ノ半數ヨリ支給シ其入營午后ニ至ル者ニハ賄料トシテ
金八錢ヲ加給ス

但近方十一里未滿ノ旅費ハ第五條及第六條
ニ準スヘシ

第十二條中(付添兵長云々人別書)迄ノ貳拾三字ヲ
甲乙丙號書式ノ如キ請取證ノ十二字ニ改ム(明細
表ニ添テ)ノ六字并但書刪除

(甲號)

明治何年徵兵旅費請取証

兵事課員ノ檢印

合金

何郡徵兵旅費

内譯

並 旅 行 滯 在 小 計 人 員

六 里 未 滿 何 日 金 何 程 徵 兵 何 人

(朱書) 何月何日郷里出立全何日何村若全何日檢査場或ハ
抽籤場出頭何月何日出立歸村但片道里程三里未滿

内

金 何町何之誰印

金 何村何之誰印

六里以上十二里未滿 何 日 金 何 程 徵 兵 何 人

(朱書)備考前ニ倣ヘ但片道里程三里以上六里未滿

内

金 何村何之誰印

金

何町何之謹印

十二里以上二十里未滿	何	日	金	何	程	徵兵何人
金	何	程	金	何	程	徵兵何人

(朱書)備考前。做。但片道里程六里以上十一里未滿

內

金

何町何之謹印

金

全 全

二十里以上三十二里未滿	何	日	金	何	程	徵兵何人
金	何	程	金	何	程	徵兵何人

(朱書)備考前。做。但片道里程十一里以上十六里未滿

內

金

何町何之謹印

金

全 全

(朱書)検査場ヨ。抽籤場へ至リシ時ノ例

總里程何日	何	日	金	何	程	徵兵何人
金	何	程	金	何	程	徵兵何人

(朱書)何月何日郷里出立全何日何所着全何日検査場へ出頭全何日全所出立全何日何所着全何日抽籤場へ出頭何月何日歸村總里數何里ニ付旅費何日分現日數ニ對シ不及日數何日分滞在日當并何月何日何所滞在何日合何日分

右之通相違無之候也

附添

年月日

何郡何組戶長何之謹印

(乙號)

明治何年徵兵入營旅費請取証

合金

內譯

① 兵事課員ノ檢印
② 何郡徵兵旅費

並旅行 滯在 賄料 小計 人員

三里未滿 何程 何日 何度 金何程 徵兵何人

(朱書) 何月何日鄉里出立何月何日何所着
全何日午前何營所或ハ鎮臺入營

內

金 金

何町何之誰印
何村何之誰印

三里以上六里未滿 全 全 全 全 金 全

(朱書)備考前ニ做ハ

內

金 金

何村何之誰印
全 全

六里以上十一里未滿 全 全 全 全 全 全

(朱書)全上

內

金 金

全 全
全 全

十一里以上十六里未滿 全 全 全 全 全 全

(朱書)全上

金	金
全	全
全	全

(朱書)以上右ニ做ヘ

右之通相違無之候也

附添

年月日

戸長或ハ書記何之誰印

○乙第八十五號(十七年三月十四日達)

郡役所、戸長役場

本年一月第一號布告ニヨリ懲罰ニ處セラレタル者徵兵年齡ニ相當スル者ハ右懲罰ノ處分満期ニ至リ召集ニ應セムヘシ此旨相違候事

○諭乙第六號(十七年七月廿五日諭達)

郡役所、戸長役場

兵役ハ國民ノ義務ニシテ各自必ラス負擔セサルヘカラサルハ勿論ニ候處人民未タ全ク之ニ通曉セス徵募ノ期ニ臨ミ違カニ癩疾者ノ養子トナリ或ハ失踪逃亡シ甚シキニ至テハ失踪逃亡ハ名ノミニシテ實ハ北海道ニ出稼漁業等ニ從事シ其期終レハ密カニ家ニ歸リ夫々ノ業ヲ營ミ徵兵檢査ノ期ニ至レハ際ニ北海道ニ暗マスカ如キノ手段ヲ以テ徵集ヲ規避スル者往々有之哉ノ趣相聞得兵備擴張ノ御主意ニ反シ不相濟儀ニ候條猶一層精密ニ注意シ町村内人民ヘモ丁寧説諭ヲ加ヒ是

等ノ規避ヲ防キ候様可致且目下失踪逃亡ノ者ハ其父兄ヲ懇篤説諭シ精々搜索ヲ遂ケ國民ノ義務ヲ尽サシメ候様致スヘシ此旨諭達候事

○乙第二百六十八號(十七年八月廿一日達)

郡役所、戶長役場

徵兵各自届書ハ毎年九月十五日迄ニ差出スヘキ處調査ノ都合有之候條戶長ハ各自届書ヲ可成九月五日以内ニ領收シ成規之通調査シ同月二十日以内ニ郡長ニ差出候様可致此旨相達候事

○乙第二百八十二號(十七年八月三十日)

郡役所、戶長役場

徵兵適齡ニシテ他ニ寄留若クハ旅行シ無故歸郷

セサル者間々有之甚不都合之次第ニ付右ノ爲メ翌年廻シト相成居者ハ勿論自今他行ノ者共檢査期節以前必ス歸郷候様精々注意可取計此旨相達候事

○乙第二百八拾三號(十七年八月三十日)

郡役所、戶長役場

徵兵事務取扱手續別冊之通被定候條爲心得此旨相達候事

(別冊)

(明治十七年八月十五日陸軍省甲第卅六號達)

府縣 札幌、根室、沖繩、
ノ三縣ヲ除ク

徵兵事務條例布達ニ付陸軍徵兵事務取扱手續左

ノ通相定候條此旨相達候事

陸軍徵兵事務取扱手續

第一項 近衛局及ヒ鎮臺ハ十一月一日ノ現員ニ依リ翌年ノ所要徵員表ヲ製シ十一月十五日迄ニ之ヲ陸軍省ニ開申スヘシ

第二項 徵集人員ノ配當ハ步兵ニ在テハ一師管區内ノ壯丁名簿及壯丁異動名簿ノ徵集ノ部ニ記載シタル總人員ヲ率トシ他ノ諸兵及ヒ雜卒職工ハ一軍管徵兵區内ノ壯丁異動名簿ノ徵集ノ部ニ記載シタル總人員ヲ率トシ之ヲ府縣徵兵區内ノ壯丁名簿及ヒ壯丁異動名簿ノ徵集ノ部ニ記載シタル人員ニ配當シテ徵兵事務條例

第三十三條ノ配當表ヲ作ルヘシ

但近衛諸兵ハ一軍管徵兵區内ノ壯丁名簿及ヒ壯丁異動名簿ノ徵集ノ部ニ記載シタル人員ヲ率トシ府縣ニ配當スヘシ

第三項 毎年新兵徵集ノ季節ニ至レハ鎮臺司令官ハ後備軍司令官府縣駐在官郡區駐在官軍醫其他後備軍司令部書記等ニ巡回ヲ命スヘシ

第四項 一等軍醫ノ人員ハ一師管徵兵區ニ一人トシ二等軍醫以下軍醫試補以上ノ人員ハ一府縣徵兵區ニ一人乃至三人トス

第五項 後備軍司令部書記ノ人員ハ一師管徵兵區ニ一人トス

第六項 地方醫員ハ内務省醫術開業免狀ヲ所持スル者ニシテ其人員ハ概テ一府縣徵兵區ニ四人乃至六人トス又筆生ノ人員ハ徵兵署ニ五人乃至十人トシ検査所ニ三人乃至七人トス

第七項 徵兵検査所ハ務メテ壯丁遠路往復滯在等ノ費用ヲ省略スルカ爲メ一ヶ所概テ二百人乃至五百人ノ見込ヲ以テ之ヲ設クヘシ

第八項 徵兵検査所ハ壯丁ヲシテ裸体ナラシメ全体ヲ検査シ四支ノ運動ヲ爲サシムルヲ以テ官舎或ハ社寺等ノ廣潤ニシテ能ク光線ヲ引キ且温暖ナル適當ノ家屋ヲ撰ヒ之ニ充ツヘシ

第九項 壯丁ノ身体検査ノ上合格者ノ等位ヲ甲

乙ノ二種ニ區別シ体格強壯ノ者ヲ甲種トシ体格甲種兵ニ適セサルモノヲ乙種トスヘシ

第十項 砲兵ニ編入スヘキ者ハ体格最健全ニシテ視力清明ナル者ヨリ之ヲ撰フヘシ

第十一项 騎兵ニ編入スヘキ者ハ成ルヘク資質敏捷ニシテ馬匹ヲ使用スルニ慣レ其体格ハ筋肉肥滿ニ過キス又瘦瘠ニ失セス上体ト下体トヲ比較シ股脚稍長キ者ヨリ之ヲ撰フヘシ

第十二項 工兵ニ編入スヘキ者ハ成ルヘク木工石工竹工船工車工鍛工鞆工桶工泥工馬具職屋根職茅屋根木挽職指物職建具職穴藏職井戸掘職棒削職飾職杣職舟夫等ヨリ之ヲ撰フヘシ

第十三項 輜重兵ニ編入スヘキ者ハ成ルヘシ馬
匹ヲ使用スルニ慣レ且讀書算術ヲ爲シ得ル者
ヨリ之ヲ撰フヘシ

第十四項 歩兵ニ編入スヘキ者ハ職業又ハ技能
ノ有無ヲ問ハス身体輕捷ニシテ銃器ヲ執リ能
ク勞動ニ堪ユル者ヲ採用スヘシ

第十五項 近衛兵適當ノ者不足スルキ其不足ハ
鎮臺諸兵適當ノ者ヨリ身幹体格品行ヲ撰ミ之
ヲ補フヘシ

第十六項 雜卒若クハ職工適當ノ者不足スルキ
其不足ハ体格ノ五種兵ニ亞ク者ヨリ之ヲ補ヒ
尙不足スルキ身幹四尺九寸以上ニシテ体格甲種

ノ者ヨリ之ヲ補フモノトス

第十七項 徵兵署ニ於テハ一年志願者ノ人員ヲ
調査シ種類ヲ分テ府縣駐在官ヨリ所屬後備軍
司令官ヲ經テ毎年十一月十日限リ所屬鎮臺ニ
申告シ鎮臺ニ於テハ一軍管ニ取纏メ同月三十
日限リ之ヲ陸軍省ニ開申スヘシ

第十八項 後備軍司令官徵兵署巡回日割ハ成ル
ヘク三月十日以前ニ於テ其師管ノ徵兵事務ヲ
竣ハル如ク之ヲ定ムヘシ

第十九項 徵集相當ニシテ合格ノ者抽籤以前現役
ヲ志望スルキハ徵兵署ニ於テ身幹職業ニ從ヒ
現役編入順序ニ據テ許可スヘシ

第二十項 徵兵事務條例第二百二十二條ニ當ル志願者ハ徵兵令第十條ニ當ル者ノ次ニ列シ又前條ノ志願者ハ尙ホ其次ニ列シ之ヲ現役ニ編入スヘシ

第二十一項 一年志願兵合格ノ者ハ抽籤ノ法ヲ用ヒス年齡ノ順序又同年齡ノ者ハ誕生日ノ順序ニ從ヒ別ニ府縣及ヒ種類毎ニ一貫ノ番號ヲ附スヘシ

第二十二項 徵兵令第二十八條ノ籤丁名簿ハ郡區ヲ分チ美濃紙半葉ニ三名若クハ四名宛籤丁ノ住所姓名ヲ登記シ而シ抽籤施行ノ後一人毎ニ之ヲ截テ切リ總代人ニ付與スヘシ

第二十三項 徵兵事務條例第七十八條ニ掲クル附添人ノ割合ハ概テ新兵五人以上三十人未満ノ一群ニハ附添人一名三十人以上ノ一群ニハ三十人毎ニ二名ノ附添人ナルヘシ

但四名以下ハ附添人ヲ要セス各自單行セシムヘシ

第二十四項 徵兵各自屆出期限ハ徵兵令第三十四條第三十五條及第三十六條第三十七條ノ如シト雖モ土地廣潤或ハ遠隔ノ島嶼ヲ管轄スル府縣ニ在テハ所管鎮臺ト議シ其期限ヲ繰上クルモ妨ケナシ尤同令第二十三條揭示ノ項目ニ當ル徵集猶豫ニ關スル者ハ凡テ九月十五日ヲ

以テ分界トスヘシ

第二十五項 徵兵令第十七條ノ項目ニ當ルモノ
ニ同令第十八條若クハ第十九條第二十一條
ニ當ル名稱ヲ併有スル者ハ尙ホ第十七條ノ名
稱ニ從ヒ徵集猶豫名簿ニ登記シ又同令第七條
ニ當ル者ハ之ヲ除役名簿ニ登記スヘシ

第二十六項 徵兵事務條例第十五書式ノ番號割
符ノ用紙ハ鎮臺ニ於テ左ニ示ス雛形ノ如ク厚
紙ヲ以テ之ヲ製スヘシ

第二十七項 徵兵事務條例第六書式ノ人別表用
紙及ヒ第十二書式ノ検査表用紙ハ府縣廳ニ於
テ左ニ示ス雛形ノ如ク美濃紙半葉ニ之ヲ製シ

又雛形圖面ノ身幹度尺ヲ製シ検査所及徵兵署
ニ備置クヘシ

(書式略ス)

○ 參照(明治十七年七月第十八號太政官布達)

徵兵事務條例制定

○第十八款 招魂祭

○第十四號 八年二月八日達

嘉永六年癸丑以來憂國慷慨之士皇運之挽回ヲ期
シ未タ其志ヲ不遂致冤死候者之靈魂今嚴厚キ
思召ヲ以テ東京招魂社へ合祀可相成ニ付京都東
山配祀ノ者及ヒ是迄各府縣招魂場ニ於テ祭祀執

行來ノ候者共ハ勿論其餘戊辰以前舊藩々ニ於テ
殉難死節ノ者其名湮滅レ未ク祭祀等之列ニ漏レ
候者迄モ精密穿鑿ヲ遂各人ノ履歴及殉難死節ノ
顛末凡小傳ニモ可充程ニ詳細取調可差出旨乙第
六號ヲ以內務省ヨリ御達有之候條各區內普ク詮
索之上有無取調早々可申出此段相達候事

○甲第百九十四號(十二年十二月廿六日布達)

曩ニ西南之役警視局管理ニシテ從軍中流行病ニ
罹リ死亡候者ハ總テ戰死ニ準スルノ例ニ無之ニ
付靖國神社へ合祭不相成候條此旨布達候事
但本文病死者遺族之内扶助料ヲ可受權利ヲ有
スル者ハ戰死同様下附相成候條此旨共可相心

得事

○第十九款 徵發

○乙第五拾三號(十七年二月十八日達)

郡役所、戶長役場

徵發令第八條同事務條例第十四條ニ從ヒ郡長戶
長ニ於テモ便宜徵發ニ應スル方法ヲ豫定スヘキ
ハ勿論ナレモ各郡町村區々不相成様別紙之通手
續相示候條右ニ照準其方法ヲ定ムヘシ此旨相達
候事

第一條 徵發令第八條同事務條例第拾四條ニ從
ヒ郡長戶長ニ於テモ便宜徵發ニ應スルノ方法
ヲ豫定スヘキハ勿論ナリト雖各郡町村區々ニ

出テサル爲メ其標準ヲ示ス左ノ如シ

第二條 郡長戸長、豫テ隣郡長戸長ト商議シ供給ヲ便宜ニスルノ方法ヲ定メ置クヘシ

第三條 郡長戸長ニ於テ賦課ノ員數ヲ充實スル能ハサル時ハ徵發事務條例第十二條ニヨリ徵發書ヲ出シタル官憲ニ報告スヘキハ勿論ナレド其同時ニ戸長ハ郡長郡長ハ縣廳ヘ届出ツヘシ

第四條 徵發事務條例第十條ニヨリ本令第六條ノ手續ヲ離レ縣令ニ付スヘキモノヲ郡長又ハ戸長ニ付シ郡長ニ付スヘキモノヲ戸長ニ付セラレタル時ハ其徵發書ヲ出シタル官憲并ニ物

品ノ員數及ヒ差出場所等戸長ハ郡長(縣令ニ付スヘキモノヲ戸長ニ付シタル時ハ郡長ヲ經テ縣廳ヘ)郡長ハ縣廳ヘ届出ツヘシ

第五條 徵發物件ヲ差出場所ヘ輸送スル入費ハ其區ノ義務ニ係ルヲ以テ豫メ徵收支出ノ方法ヲ定メ置クヘシ

第六條 前條郡長戸長於テ徵發ニ應スル方法ヲ定メタル上ハ戸長ハ郡長ヘ郡長ハ縣廳ヘ届出ツヘシ

第七條 徵發事務條例附錄第三號第五號第七號ノ諸表ハ左ノ項目ニヨリ取調フヘシ
一 第三號徵發物件表ハ明治十七年一月本縣乙

第十六號ニ依リ毎年一月一日調ヲ以テ之ヲ製シ二月末日迄ニ縣廳ヘ差出スヘシ

一 第五號(一)船舶表ハ一月一日ヲ以テ之ヲ製シ同月卅一日マテニ郡長ニ差出シ郡長ハ二月末日マテニ縣廳ヘ差出スヘシ

一 左ニ掲クニ町村所轄ノ郡長ハ第七號ノ三年間平均物價表ヲ製シ毎年二月末日マテニ縣廳ヘ差出スヘシ

青森 八戸 弘前

五所川原 鯉ヶ澤 野邊地

一本令第十三條ノ物件ハ毎年一月一日現在ヲ以テ戶長之ヲ取調同月卅一日迄ニ郡長ヘ差

出スヘシ

一 徵發物件表及ヒ船舶表ハ美濃紙ニツ折ニ之ヲ認メ一郡一冊トシ物價表ハ美濃紙ニツ折前半面ニ之ヲ認ムヘシ

但徵發物件表ハ二通差出スヘシ

○甲第拾號(十七年二月廿一日)

徵發令第拾二條第一項ノ徵發事務取扱手續及ヒ物品輸送費賦課徵收法別紙之通相定ム

右布達候事

徵發事務取扱手續

第一條 徵發令第八條同事務條例第十四條ニ從ヒ同令第十二條第一項ノ徵發ニ應スル方法ヲ

豫定スル左ノ如シ

第二條 前條ノ徵發ヲ受ケタル時ハ縣令ハ郡長
ヘ郡長ハ戶長ヘ付録第一號ノ徵發書ヲ付スル
ヲ定例トス

第三條 徵發書ヲ出スノ順序ハ第二條ノ如シト
雖モ時機ニ依リ其順序ヲ離レ且ツ徵發書ヲモ
用ヒス縣令ヨリ直ニ戶長又ハ人民ヘ賦課シ或
ハ郡長ヨリ直ニ人民ニ賦課スルコトアルヘシ
本條ノ場合ニ於テハ第二條定例ノ順序ニ從ヒ
郡長又ハ戶長ヘ通報スヘシ

第四條 各町村(數町村ヲ合シテ戶長役場ヲ置ク
モノハ一町村ト見做ス)内各種ノ營業者ハ聯結

シテ二名又ハ三名ノ惣代人ヲ置キ賦課ヲ辨理
セシムルヘシ

惣代人ハ營業者互撰ヲ以テ之ヲ定メ戶長ヘ届
出ヘシ其交換年期ハ適宜ニ任ス

第五條 惣代人ハ町村各營業者ト協議シ賦課ヲ
辨理スル方法ヲ定メ戶長ヘ届出ヘシ
惣代人ニ於テ賦課ヲ辨理スル爲メニ要スル費
用ハ町村内各營業者ノ負擔トナレ豫メ支辨ノ
方法ヲ協議シ戶長ヘ届出ヘシ

第六條 徵發物件ハ營業者ヲ先トシテ之レニ賦
課シ而シテ仍ホ賦課ノ員數ニ充實スル能ハキ
ルモ他ノ人民ニ課スルノ法ナルヲ以テ豫メ

其町村内物品(本令第十二條第一項ノ物品)ノ多寡及其價ヲ明瞭ナラシメ、爲メ、戸長ニ於テ附録第二號書式ニ依リ、毎年一月一日現在ノ物品表ヲ調製シ、同月卅一日マテニ郡長ニ差出シ、郡長ハ同書式ニヨリ、一郡合計表ヲ製シ、二月末日マテニ縣廳ニ差出スヘシ

第七條 徵發物件ハ先ツ差出場所最寄町村ニ賦課シ、若シ最寄町村ニテ賦課ノ員數ヲ充實スル能ハサル時ハ、順次最遠ノ町村ニ及ホスニ例トス

第八條 郡長ニ於テ兩度以上賦課ヲ受ケタル時ハ、前ニ供給シタル町村ヲ除キ、他ノ町村ニ賦課

スルモノトス

第九條 賦課ノ順序ハ第八條第九條ノ如シト雖、第三條前項ノ場合及ヒ他ノ町村ニテ其員數ヲ充實スル能ハサルカ、又ハ郡長ニ於テ供給スヘキ時、日切迫スルカ、或ハ運送ノ不便等ニテ其時期ヲ誤ルト思量スル時ハ、必スシモ其順序ニ據ルヲ要セス

第十條 賦課ノ員數ヲ充實スル能ハサル時ハ、電信又ハ急使ヲ以テ、戸長ハ郡長ニ、郡長ハ縣廳ニ届出ヘシ

本文、戸長ヨリ郡長ニ届出タル時ハ、郡長ハ直ニ他ノ組合町村ニ賦課シ、其員數ヲ充テシムヘシ

第十一條 前條徵發ヲ賦課シタルキハ時宜ニ依
リ便宜ノ地ヲ撰ヒ徵發事務所ヲ設ケ縣官ヲ派
遣シ徵發ニ應スル諸般ノ事務ヲ取扱ハシムヘ
シ

第十二條 徵發物件ヲ集纏シ差出場所ニ輸送ス
ルコトハ縣官又ハ郡吏戸長附添供給ヲ受クヘキ
官憲ニ交付スヘシ

第十三條 徵發物件ノ受領証票ハ縣令ニ交附ス
ルノ成規ナルヲ以テ更ニ縣令ヨリ郡長郡長ヨ
リ戸長戸長ヨリ人民ニ附錄第三號ノ受領証票
ヲ交付スヘキ

但第三條ノ場合ニ於テハ本文ノ順序ニ據ラ

ス直ニ供給者ニ交付スヘシ

(附錄第一號ノ一)

徵發書

一 玄米 幾百石

一 精米 幾百石

一 薪 幾貫目

一 何々

一 何々

右之物品今殿陸(海)軍某官憲ニリ徵發相成候ニ付
其郡(町村)ノ賦課候條無延滞供給可致事

但差出場所並時日ハ兵事課ヨリ通達可及事

年月日 縣令 姓名印

某郡長宛

又ハ兵長宛

(附錄第一號ノ二)

徵發書

一 玄米

幾拾石

一 精米

幾拾石

一 薪

幾貫目

二 何々

一 何々

右之物品今般陸(海)軍某官憲ヨリ徵發相成候旨本
 縣ヨリ達有之ニ付其町村ハ賦課候條無遲滯供給
 可致事

町村内同上ノ内營業			平均物價		
現在品	量	目	十四年	十五年	十六年
玄米	何百石	壹石	七三四六	一一二二	一〇三〇
精米	何百石	壹石			
鹽	何十石	壹石			
味噌	何貫目	壹貫目			
醬油	何十石	壹石			
			自十四年		至十六年
			三		年
			五二〇		

但何年何月何日マテニ其地ハ差出スヘ
 年月日 第何組兵長宛 某郡長姓名印
 (附錄第二號)

炭	薪		秣		麥		梅子		漬物	
	何拾貫目	何百貫目	何百貫目	何百貫目	何百石	何十個	何斗入	何百個	何斗入	何百個
	壹貫目	壹貫目	壹貫目	壹貫目	壹石	壹斗入	壹斗入	壹斗入	壹斗入	壹斗入

(附錄第三號)

受領證票

- 一米玄 幾百石
- 一精米 幾百石
- 一薪 幾貫目
- 一何...

一何々

前書之通正 = 領收候也

年月日

縣令 又ハ郡姓 名印 長 戶長

某郡長姓名殿 又ハ戶長人民ノ姓名宛

徵發物品輸送費賦課徵收法

第一條 徵發令第四條第一項ノ徵發物品輸送費

ハ徵發區内ノ義務ニ係ルヲ以テ賦課徵收ノ方

法ヲ定ムル左ノ如シ

第二條 物品輸送費ハ豫メ管内人民ニ賦課シテ

徵收スルモノトス

第三條 前條賦課ノ方法ハ戶數地租ノ兩種ニ割

當徴収ス

但水火風震ノ難ニ遇ヒ家屋蕩燼流失シ凍餒
ヲ免除ス

第四條 賦課ノ方法前條ノ如シト雖モ其金額(課
實費)寡少ナルキハ戶數地租ノ内一方ノミニ賦
課スルコトアルヘシ

第五條 賦課ノ金額(同上)并徴集期限ハ其時々別
ニ布達ヲ以テ之ヲ示ス

第六條 第三條戶數ニ賦課スル者ハ左ノ二項ニ
ヨリ徴収ス
一 寄留別居ヲ問ハス都テ竈ヲ異ニスル者ハ

寄留別居ト見做ス

第七條 賦課徴收ノ順序ハ布達ヲ以テ示シタル
期限ニ人民ヨリ所轄戶長役場ニ納メ戶長ハ之
ヲ取還郡長ニ送付シ郡長ハ之レニ明細書ヲ添
ヘ縣廳ニ差出スヘシ

第八條 實費ノ課算額ヨリ超過スル時ハ前條ノ
手續ニ從ヒ直ニ其不足ヲ徴収スヘシ

第九條 徴收事務完了シタルキハ決算書ヲ作リ
之レヲ人民ニ告示スヘシ

○甲第拾四號(十七年三月七日布達)

本年(二月)甲第十號布達徵發物品輸送費賦課徵收法第五條ニ依リ賦課ノ金額并徵收期限左之通相定ム

第一條 徵發物品輸送費豫備トシテ金千五百圓ヲ用途トシ本年一月一日調戸數七萬五千九百三戸ニ割合一戸ニ付金壹錢九厘七毛余トナルヲ金貳錢トシ本月二十日現在戸數へ賦課徵收スルモノトス

第二條 前條ノ金額ハ來ル四月十五日限リ戶長之ヲ取纏メ郡長へ納メ郡長ハ同月三十日限リ縣廳へ納付スヘシ
右布達候事

○第二十款 郡長

○甲第十四號(十一年十月三十日布達)

本年七月第十七號公布ニ據リ當縣下大小區ノ名稱ヲ廢シ郡制左ノ通更正候條此旨布達候事

元第一大區

東津輕郡

一小區ヨリ七小區ニ至ル

元第四大區

西津輕郡

一小區ヨリ八小區ニ至ル

元第三大區

中津輕郡

一小區ヨリ六小區ニ至ル

元第二大區ヨリ十小區ニ至

南津輕郡

ハ及五大區一小區

北津輕郡 元第五大區
 二小區ヨリ九小區ニ至ル
 上北郡 元第七大區
 一小區ヨリ七小區ニ至ル
 下北郡 元第六大區
 一小區ヨリ五小區ニ至ル
 三戸郡 元第八大區
 一小區ヨリ六小區ニ至ル
 及元第九大區
 一小區ヨリ七小區ニ至ル

○乙第二百四十號(十一年十月三十日達)

太政官第三十二號ヲ以テ府縣職制別冊ノ通被定
 候條此旨相達候事

(別冊) 十一年七月廿五日第三十二號公達(府縣

郡長(八等) 一人 (十六年二月廿一日第十號公達改正)

但特別外詮議ヲ以テ委任ナスヲ得

- 第一 郡長ノ俸給左ノ如シ
 - 第二等給 八十圓
 - 第三等給 六十圓
 - 第四等給 五十圓
 - 第五等給 四十五圓
 - 第六等給 四十圓
 - 第七等給 三十五圓
 - 第八等給 三十圓
- 第三 郡長ハ該府縣本籍ノ人ヲ以テ之ニ任ス
 第三 郡長ハ事ヲ府知事縣令ニ受ケ法律命令

ヲ郡内ニ施行シ一部ノ事務ヲ總理ス
 第四 郡長ハ法律命令又ハ規則ニ依テ委任シ
 ル、條件及府知事縣令ヨリ特ニ分任ヲ
 受クル條件ニ付キ便宜處分シテ後ニ府
 知事縣令ニ報告ス
 第五 郡長ノ處分不當ナリトスルキハ府知事
 縣令ヨリ取消ヲ命ゼラル、トアルヘシ
 第六 郡長ハ町村戸長ヲ監督ス
 郡書記十七等ヨリ至ル定員ナシ（十一年十月廿五日第四
十五號公達但書改定）
 郡書記ノ俸給ハ地方稅ヨリ支出ス其額ハ府知
 事縣令ノ適宜ニ定ムル所ニ從フ其選任進退ハ
 郡長ノ具狀ニ依リ府知事縣令ノ命スル所ヨリ

市街ノ地ニ置ク所ノ區長并書記ハ總テ郡長郡書
 記ニ同シ
 地方ノ事務郡區長ニ於テ處分シテ後知事令ニ報
 告スルヲ得ルモノ左ノ件々トス
 第一 徵稅并地方稅徵收及不納者處分ノ事
 第二 徵兵取調ノ事
 第三 身代限財產取扱ノ事
 第四 逃亡死亡絕家ノ財產處分ノ事
 第五 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事
 第六 電線道路田畑水利ノ障礙アル官有樹木
 ヲ伐採スル事
 第七 河岸地借地檢査ノ事

第八 職遊獵願威銃願ノ事

第九 印紙罫紙質捌願ノ事

第十 小學校學資金ノ事

右ノ外知事縣令ニリ特ニ委任スル條件

○乙第二百六十八號(十一年十一月二日達)

郡書記以下歸省養病願等處分方左之通可取計此旨相達候事

一長官宛ヲ以テ差出サセ郡長ニ於テ見込ヲ副ヘ

縣廳ヘ差出シ指揮ヲ受クヘキ類

養病願、歸省願、旅行願

一長官宛ヲ以テ差出サセ郡長ニ於テ三ヶ月ツ、

取廻メ届出ヘキ類

病氣届 出勤届

一除服ノ儀ハ明治八年(一月)大政官第十號公達ニ

準シ郡長ニ於テ處分シ其時々服忌届ヲ添ヘ縣

廳ヘ届出ヘシ

一戸長以下及郡役所雇等前條願届類ハ縣廳ヘ差

出ニ及ハス郡長宛ヲ以テ差出サセ處分スヘシ

十六年中戸長身分取扱改正ノ後ヘ右四項中戸

長ヘ關係ノ義ハ消滅

○乙第二百八十九號(十一年十一月廿一日達)

郡役所五係ヲ置キ每係取扱ノ事項ハ郡長適宜之ヲ定メ事務ヲ分擔セシムルモノトス其目左之通

庶務係 產業係 租稅係

學務係 出納係

但本年乙第九十一號達取消候事

○乙第七十七號(明治十二年二月十日達)

郡役所

郡役所筆生以下別紙雛形ニ照準取調至急可差出此旨相達候事

但自今人員月給異動アル毎ニ可届出事

(雛形)

何郡々役所筆生以下明細表

職	名	給	人	名
筆	生	圓	何	誰
同	何	圓	何	誰

一時雇筆生	何	圓	何	誰
小計	何	十	何	誰
	何	圓	何	誰

○乙第七十六號(十二年五月二十日達)

郡役所

郡役所判任官ノ輩歸省願及病氣療養願等は迄本廳へ差出來候處遠隔ノ地往返日數相懸リ時機ニ後レ候義ニ可有之ニ付自今郡書記願出候分ハ其郡長ニテ往返ヲ除クノ外三十日ヲ限リ聞届追テ願書相添可届出此旨相達候事

但郡長願出候節ハ次席ノ郡書記ニテ承置本文同様可届出事

○乙第二百八十五號(明治十二年九月五日達)

郡役所、警察署、戸長役場

警察署ニ宛タル郵便物ノ表記其本署ノ名ノミヲ肩書致シ差出向モ有之處郵便遞送ノ儀ハ迅速ナルヲ主トシ瞬間ニ區分取扱フモノニ付逸々表記ヲ檢スルノ暇無之故ニ肩ニ記載セル本署ノ地名ヲ目的トシ自然誤送ニ係ルノ懸念有之趣驛遞局ヨリ照會越候條自今其署名ノ肩ハ必ス所在ノ地即チ郡村名ヲ詳記可致此旨相達候事

○乙第三百二號(十二年十月二日達)

郡役所

本年(二月)當縣乙第七十七號但書ヲ以筆生以下人員月俸異動アル毎ニ可届出旨相達置候處往々等

閑ニ相心得不届出向モ有之調査上甚差問候條尔後一ヶ月分ツ、取廻翌月五日限可届出此旨相達候事

但異動無之候ハ、其旨可届出事

○乙第三百十六號(十二年十一月七日達)

郡役所

昨明治十一年當廳乙第二百六十八號達中旅行願トハ父母ノ墓參又ハ郡吏賜暇中旅行等事實不得已分ニ限ル儀ニ候條爲心得此旨相達候事

○乙第八十號(十三年四月五日達)

郡役所

郡長及郡役所ノ儀是迄某郡々長某郡々役所ト相唱來候處自今某郡長某郡役所ト可相稱此旨相達

候事

○乙第八十六號(十三年四月十六日達)

郡役所

郡役所事務受渡規則別番ノ通相定候條自今右ニ照準受渡候様平常共注意可致此旨相達候事

(別紙)

郡役所事務受渡規則

第一條 郡長轉任免職等ノ節ハ在職中ノ事務并取懸リノ事件後來ノ見込ヲ記セル演說書ヲ作リ先前ヨリ繼送ノ書并現今取扱ノ諸簿冊等目錄ヲ添へ引渡シ新任舊官互ニ受渡ノ証書ヲ交付スヘキ事

但新官赴任迄ハ總テノ事務延滞無之様郡書記高等ノモノ代理スヘキ事

第二條 郡ノ一方分割合併ノ節ハ右ニ準テ受渡スヘキ事

第三條 國稅地方稅其他該郡役所一切ノ金錢一時預リ金共)等ハ其收支仕譯書ヲ詳記シ該書尾ト現在金額ト照合シ差違ナキヲ詳知シテ後受渡スヘキ事

第四條 道路橋梁堤防ノ修築并學校病院ノ造立勸業ノ事務等許可ヲ得施行シ竣功ニ至ラサルモノハ最前稟議ノ旨趣費用ノ出納及將來踐行ノ考案ヲ演說書ニ詳記スヘキ事

第五條 先官ノ成績郡丙ニ大ナル利益アルモノハ勿論引渡條件ノ内其處分成規例格ニ乖戻スルカ或ハ後來ノ弊害トナリ引請カクキ件々ハ其事情ヲ詳ニシテ縣廳へ稟議スヘキ事

第六條 郡役所ハ地面并建物坪數等詳記セル書付へ圖面ヲ添へ引渡スヘキ事

但借用ノ土地建物等アラハ是亦記載スヘシ

第七條 受渡相濟次第其旨新官ヨリ縣廳へ届出ヘキ事

第八條 諸帳簿器械ノ類目錄ヲ添へ受渡スヘキ必用ノ目左ノ如シ

一 郡内繪圖面

一 郡役所并各係ノ印章

一 布告布達留帳

一 戸長公撰進達控帳

一 窮民救助調帳

一 貯蓄金穀元帳

一 縣會町村會書類留

一 縣廳へ報告書取調帳

一 郡役所經費金受拂帳

一 郡吏月給旅費調帳

但所屬書類共 証書明細表決算証書
月俸旅費其他臺帳ノ類

一 戸長以下月給并役場費受拂帳

一 官地拜借調帳

- 一 賦金受拂帳
- 一 官庫拜借調帳
- 一 協議費統計表
- 一 戶籍帳
- 一 士族名簿
- 一 印鑑帳
- 一 神社神官名簿
- 一 神社明細帳
- 一 神道教導職名簿
- 一 神社什物調帳
- 一 大社古社文庫經藏儲書等調目錄帳
- 一 神社寶物古器物古文書等調目錄帳

- 一 寺院明細帳
- 一 寺院住職名簿
- 一 佛道教導職名簿
- 一 寺院什物調帳
- 一 名山巨剎文庫經藏儲書等調目錄帳
- 一 寺院寶物古器物古文書等調目錄帳
- 一 國民軍名簿
- 一 常備軍名簿
- 一 豫備軍名簿
- 一 後備軍名簿
- 一 第一豫備徵兵名簿
- 一 第二豫備徵兵名簿

- 一 歸休兵名簿
- 一 壯兵名簿
- 一 國民軍外免役名簿
- 一 終身除役名簿
- 一 田畑開墾取調帳
- 一 牝牛馬取調帳
- 一 礦物借區開坑試掘調帳
- 一 溜池水門掘類元帳
- 但從來ノ分官民費
- 一 橋梁并渡船元帳
- 但從來ノ分官民費
- 一 溜池并堰種類五少年間官費取調帳

- 但少所謂帳
- 一 河港道路橋梁并堰出來形精算帳
- 類并郡役所等營繕
- 一 川々水源流末書上帳
- 一 國稅金受拂帳
- 一 地券書換証印稅受拂帳
- 一 地方稅金受拂帳
- 一 耕宅地々券臺帳
- 一 山林原野地券臺帳
- 一 國稅金仕譯勘定帳
- 一 地方稅金仕譯勘定帳
- 一 地券用紙受拂勘定帳
- 一 一村限租稅納額割付帳

- 一 延納地租金取調帳
- 一 酒類營業人員并釀造石高帳
- 一 度量衡檢查員數調帳
- 一 諸印界紙受拂帳
- 一 諸免狀受拂帳
- 一 國稅皆濟決算帳
- 一 地方稅皆濟決算証
- 一 諸稅金上納領受証
- 一 公賣處分人名簿
- 一 遊獵職獵人名調帳
- 一 諸印界紙賣捌人名簿
- 一 同上受書綴

- 一 諸券印紙五圓以上買取人名簿
- 一 難破船取調帳
- 但屆書綴
- 一 各港出入船舶表
- 一 貢米石代相場書
- 一 諸稅金豫算報告書
- 一 諸稅月々増減報告書綴
- 一 北海道出港稅金取立帳
- 一 西洋形商船海員雇入雇止証書受拂帳
- 一 漂流漂着物品拂代取立帳
- 一 諸營業願書綴
- 一 諸稅金上納証書差出綴

- 一 度量衡檢查器械
 - 一 船車檢印
 - 一 學校及教員生徒調帳
 - 一 學務委員名簿
 - 一 學事年報書類
 - 一 小學補助金受渡帳
 - 一 小學校貸下金元帳
 - 一 書籍賣捌所へ下渡置現殘品及代金明細帳
 - 一 津輕郡農業資本米貸付及取立ニ關スル帳簿
- 右ハ一般平常取扱事務ノ書目ヲ概載スル迄ニテ相洩ル、廉或ハ一簿冊ヲ以テ數事ヲ合シ或ハ一事件ニ付數帳ニ分ル、等ノ義モ可有之右等ハ更

- ニ如此部分ヲ設備スルニ不及從前取扱來リ候簿冊無漏引渡シ其事理明瞭ナルヲ要スヘキ事
- 演說書ニ記スヘキ箇條
- 一 郡内戸數人口并反別地租國稅地方稅等ノ事
 - 一 郡内ノ貧富土地ノ肥瘠運輸ノ便否等ノ事
 - 一 開墾牧場工藝場學校病院并樂兒養育法等ノ事
 - 一 道路橋梁堤防修築等ノ事
 - 一 鍍山等ノ事
 - 一 郡役所月給旅費消耗費定額等ノ事
- 右ノ外總テ、事務伺中及履行中ノ分ハ其實況ヲ記スヘシ

○乙第五十三號(明治十五年三月十四日達)

郡役所

郡長委任條件ニ係ルモノハ本廳ヲ經由セスシテ
郡長ヨリ直チニ他府縣ノ郡區長ニ文章ヲ往復ス
ルヲ得爲必得此旨相達候事

○乙第七十五號(十六年六月廿九日達)

郡役所

郡長御用有之本廳并他郡へ出張セントスルキハ
前以テ其事由ヲ具シ可伺出郡内派出ハ伺出ニ不
及ト雖用其都度事由及發着共可届出此旨相達候
事

但事至急ニ係リ經伺ノ暇ナキ場合ニ於テハ直

ニ出張其事由詳細届出スヘシ

○甲第八十號(十七年八月十九日布達)

明治十一年(十月)甲第一百十六號布達別冊之通更正
ス

右布達候事

郡長職制

- 第一 徵稅并地方稅徵收及不納者處分ノ事
- 第二 徵兵取調ノ事
- 第三 身代限財產取扱ノ事
- 第四 逃亡死亡絶家ノ財產處分ノ事
- 第五 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事
- 第六 電線道路田畑水利ニ障碍アル官有ノ樹

- 木ヲ伐採スル事
- 第七 河岸地借地検査ノ事
- 第八 職遊獵願威銃願ノ事
- 第九 印紙罫紙賣捌願ノ事
- 第十 小學校學資金ノ事
- 郡長特任條件
- 第一 縣廳ヨリ褒譽スル者ヲ揭示スル事
- 第二 戶籍ヲ監査スル事
- 第三 戶籍遺漏入籍并誤謬訂正ノ事
- 第四 分家并絶家再興ノ事
- 第五 家名相續ノ事
- 第六 改名ノ事

- 第七 遺子ヲ有スル寡婦後夫ヲ迎フル事
- 第八 復籍并附籍離籍ノ事
- 第九 嗣子相續人并嫡孫承祖及廢嫡ニ關スル願ノ事
- 第十 町村費支辨業ノ事ニ係ル寄附願ノ事
但地所ノ寄附及勅奏任官并從六位以上勳六等以上ノ者又ハ華族ノ戶主ハ此限ニアラス
- 第十一 逃亡失踪又ハ處刑中相續及離縁ニ關スル願ノ事
- 第十二 轉宗葬儀改式ノ事
- 第十三 社寺境内ノ倒木枯木處分ノ事

- 第十四 社寺外ニ於テ説教ノ事
- 第十五 縣社以下神社并寺院建物修繕ノ事
- 第十六 浦役人進退ノ事
- 第十七 度量衡發賣願并該器検査ノ事
- 第十八 町村費ノ統計表ヲ編製スル事
- 第十九 水害表調製ノ事
- 第二十 宿驛人馬繼立ノ難易ヲ調査シ維持方法ヲ設ケル事
- 第二十一 共同會社結社ノ事
但成法ニ制定スル所ノ會社及海陸運輸ニ關スルモノハ此限ニアラス
- 第二十二 田用分水ノ事

第廿三 牛馬籍ヲ調理スル事

- 第廿四 官有蹄牛馬處分ノ事
- 第廿五 牛疫處分ノ事
- 第廿六 畜類流行病ヲ豫防スル事
- 第廿七 町村ノ教育事業及私立學校等監督ノ事
- 第廿八 町村立學校職員及學務委員ノ除服并歸省病氣療養等暇願ノ事
- 第廿九 町村立學校二週間以内臨時休業ノ事
- 第三十 醫務取締ノ事
- 第三十一 賣藥請費願ノ事
- 第三十二 土場地薪材揚置検査ノ事

- 第卅三 町村費負擔ニ係ル堤塘使用料及並木
拂代金收支ノ事
- 第卅四 田租代米納願ノ事
- 第卅五 田租抵當預リ米願ノ事
- 第卅六 民有地券調整下與スル事
- 第卅七 煙草并牛馬賣買營業ニ關スル願届及
鑑札下附ノ事
- 第卅八 船舶ヲ検査シ鑑札下附及烙印ノ事
- 第卅九 船舶賣買讓與并定聚場換願及解破届
ノ事
- 第四十 諸車檢印并賣買讓與願及解車届ノ事
- 第四十一 北海道出產物出港稅收入ノ事

- 第四十二 諸行商鑑札願ノ事
- 第四十三 自家用料酒類製造免許鑑札下附ノ
事
- 第四十四 地方稅中諸營業 演劇諸興ニ關スル
届ノ事
- 第四十五 捕魚採藻稅取締ノ事
- 第四十六 罹災ノ窮民ニ食料小屋掛料農具料
給與ノ事
- 第四十七 郡吏俸給定額内ヲ以テ筆生備入ノ
事
- 第四十八 戶長役場筆生雇入許可ノ事
- 第四十九 郡役所經費戶長以下給料旅費ヲ成

- 規。依。支辨ノ事
- 第五十 三子手當并樂兒養育米代及恤救米代渡方ノ事
- 第五十一 國庫ノ雜收入及森林收入ニ屬スル諸貸下料及諸拂下代金徵收ノ事
- 第五十二 諸貸下金取立及拜借人身代限ノ節裁判所へ分配金請求ノ事
- 第五十三 備荒儲蓄公儲金徵收及怠納者處分ノ事
- 第五十四 貸座敷娼妓賦金徵收及怠納者處分ノ事
- 第五十五 郡役所不用品賣却ノ事

- 第五十六 軍人恩給賞勳年金渡方ノ事
 - 第五十七 印紙類賣捌手数料及賣捌所看板代并國稅ニ關スル木製鑑札代渡方ノ事
 - 第五十八 難破船諸費渡方ノ事
-
- 参照
- 明治十六年六月廿一日第七號布告(郡區長ノ給料及ヒ旅費ハ十六年度以後國庫ヨリ支辦ス)
- 第廿一款 戶長
- 甲第八十二號(十一年九月九日布達)
- 第八大區々務所及其他各大區内ノ小區々務所并

戸長以下職員總々相廢更ニ町村ニ戸長ヲ置事務
取扱候條此旨布達候事
但第八九大區ノ事務ハ第九大區々務所ニ於テ
取扱可申且各大區町村戸長新任迄ハ従前ノ通
可心得候事

○甲第八十六號(十一年九月九日布達)

今般町村戸長設立候ニ付テハ諸願伺届ハ渾々戸
長ノ奥印ヲ受テハ此旨布達候事

但區務所ニ送達方之儀ハ戸長ニ於テ取計フヘ
キ答ニ候事

○乙第百八十九號達(十一年九月十日達)

區長

甲第八十二號ニ以テ町村戸長設置候ニ付テハ戸
長以下職務之儀左ノ通相心得此旨可相達事

一 戸長職務之概目

- 第一 布告布達町村内ニ示ス事
- 第二 地租及諸稅ヲ取纏メ上納スル事
- 第三 戶籍ノ事
- 第四 徵兵下關ノ事
- 第五 地所建物船舶買入賣入并ニ賣買ニ與書
加印ノ事
- 第六 地券臺帳ノ事
- 第七 迷子拾兒及ヒ行旅病人變死人其他事變
アルキハ警察署ニ報知ノ事

- 第八 天災又ハ非常ノ難ニ遭ヒ目下窮迫ノ者ヲ具狀スル事
 - 第九 孝子節婦其他篤行ノ者ヲ具狀スル事
 - 第十 町村ノ幼童就學勸誘ノ事
 - 第十一 町村内ノ人民ノ印影簿ヲ整理スル事
 - 第十二 諸帳簿保存管守ノ事
 - 第十三 官費府縣費ニ係ル河港道路堤防橋梁ニ關シテ其他修繕保存スベキ物ニ就キ利害ヲ具狀スル事
- (十一年九月廿四日追加)
- 第十四 人民召喚狀ヲ本人ニ達スル事
 - 第十五 民有牛馬ノ賣買ヲ許シ牛馬籍ノ異動

右ノ外縣令又ハ郡長ヨリ命令スル所ノ事務ハ規則又ハ命令ニ依リテ從事スヘキ事其他町村限リ道路橋梁用悪水ノ修繕掃除等凡ソ協議費ヲ以テ支辨スル事件ハ不都合ナカラシムルヲ要ス
(副戸長以下廢止)

○乙第百九十九號(十一年九月廿六日達)
戸長公撰會場及時日前以所轄警察署へ通知ニ及フヘシ此旨相達候事

○甲第百九號(十一年十月十六日布達)
諸願同居共正副二通差出管之處副書不差出向モ有之不都合ニ候條自今總テ二通ツ、可差出此旨

布達候事

但本年乙第二百十六號ヲ以相達候區長副書之類ニ總テ本文ニ準スヘシ圖書版權願賣藥願等ノ如キ例規アル者ハ從前ノ通可相心得事

○甲第一號(十二年一月十四日布達)

戶長用付所ヲ戶長役場ト改稱シ用付ヲ用係ト改稱候條此旨布達候事

○乙第三十三號(十二年二月二十日達)

郡役所

今般甲第七號ヲ以各町村副戶長相廣候得共是迄副戶長ニ給與シ來ルタル金額内ヲ以用係筆生等ヲ置クハ不苦儀有之候條此旨相達候事

但青森町弘前ハ此ノ限リニ非ス

○甲第四十六號(十二年三月廿九日布達)

士民寄留旅行ノ儀是迄戶長役場へ出願シ來候處自今出願ニ及ハス直ニ戶長へ可届出此旨布達候事

但神宮僧侶教導職ハ從前之通タルヘシ

○乙第十一號(十三年一月十六日達)

郡役所、戶長役場

山林局青森出張所吏員ニ於テ官林盜伐木取押候節ハ犯罪處分濟迄該木ハ可成官林監守人へ預ケ置等ニ候處右監守人ノ儀ハ毎村配置候儀ニモ無之ニ付都合ニヨリテハ戶長へ預ケ置該監守ノ爲

別段不得已費用ヲ要スル儀モ候ハ、其都度申立
ニヨリ支出ノ詮議致候趣該出張所ヨリ照會越候
條右可相心得此旨相達候事

○戸第九號(十三年三月三十日達)

戸長役場

戸長事務受渡規則別番之通相定候條自今右ニ照
準請渡候様平常共注意可致此旨相達候事

戸長事務受渡規則

第一條 戸長轉免等ノ節ハ先前ヨリ繼送ノ書類
并現今取扱ノ諸帳簿等本年當縣戸第一號達ニ
據リ請渡スヘキ事

第二條 國稅地方稅協議費并公有金穀等ノ皆濟
未進タ一人別ニ仕譯ク徵收仕拂高ヲ明細ニ

其差引結尾ト現在金額ト照合シ差違ナキヲ詳
知シテ後受取ルヘキ事

第三條 公有ノ地所建物業器械等アラハ遺漏ナク
取調目錄ヲ添ヘ引渡スヘキ事

第四條 受渡ノ節ハ新舊戸長互ニ左ノ証書ヲ交
付スヘキ事

証

一金何程

但別冊地租金仕譯帳表上納殘分

一金何程

但別冊營業國稅同上

一金何程

但別冊地方稅同上

一金何程

但別冊協議費仕譯帳表支拂殘分

合金何程

一諸牒簿并繪圖

但別冊目錄表

一諸器械或地所建物

右之通引渡(受)申候也

何郡何村

年月日

苗字名印

或、戶長、苗字名印

何郡何村

戶長 苗字名殿

或、苗字名殿

第五條 受渡相濟次第其旨新役ヨリ郡役所へ届出へキ事

但前條々々乖戻シ引請カタキ件々アラハ其旨郡役所へ申立指圖ヲ受クヘキ事

○乙第百十五號(十六年五月八日達)

郡役所、戶長役場

刑事ニ付戶長ヲ經テ本人へ書類送達ノ節戶長役場費ヲ以テ使丁へ送達賃銀相渡候儀自今不相成候此旨相達候事

○甲第二十九號(十六年六月十八日布達)

明治十三年五月當縣甲第七十號布達ヲ應レ本年七月一日以後戶長ハ縣廳ニ於テ撰任シ其配置及組合町村ノ區域ハ別段ノ布達ヲ以テ之ヲ定ム但郡長ニ於テ公撰ヲ適當ト認ムル組ハ左ノ公撰法ニヨリ臨時公撰セシムルトアルヘシ

公撰法

- 第一 戶長ヲ公撰スルトキハ其組内人民ノ撰舉者各自投票スヘシ但左ノ各款ニ觸ル者ヲ撰舉スルヲ得ス
 - 一 風癪白痴ノ者
 - 二 舊法ニ依リ一年以上懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經サルモノ

- 八 新法ニ依リ公權ヲ剝奪及停止セラレタルモノ又ハ一年以上輕重禁錮ノ刑ニ處セラレ主刑滿期後五年ヲ經サルモノ
 - 三 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサレモノ
 - 四 教導職陸海軍諸卒現役ノモノ其他代理人
 - 五 丁年未滿ノモノ又ハ從僕雇人
 - 六 懲戒處分ニ依リ免職後二年ヲ經サルモノ
 - 第二 撰舉人タルヲ得ヘキモノハ滿二十歲以上ノ戶主ヲ除クシテ前條一二三款ニ觸レサルモノ
- 但其組内ニ就籍全戶他ヨリ移籍シタ三ヶ月

ヲ經サルモノハ撰舉人タルヲ得ス

第三 郡長ハ豫メ公撰スヘキ期日及其場所ヲ定メテ該組合町村ニ公告スヘシ

第四 撰舉人ハ豫定ノ日ニ進シテ投票ヲ郡長ニ差出レ郡長之ヲ調査シテ其投票多數ヲ得タル

第三番迄ノ者ノ族籍姓名ヲ取調縣廳ニ具申スヘシ

但本文ノ場合ニ於テ若シ法ニ觸ル、モノアルカ或ハ其撰ヲ辭スルモノアルトキハ順次多數ノ者ヲ取ル

第五 縣令ハ郡長ヨリ具申シタル人名中ヨリ一人ヲ撰任スヘシ

右布達候事

○戸第一號(十三年一月二十二日達) 戸長 役場

各町村公有記録繪圖面等嚴重取締相立保存致目錄二通ヲ作り一ハ之ヲ各町村ニ留一ハ之ヲ郡區役所ニ備へ從前散佚ノ舊記檢出并新製之分ハ年々之ヲ追加シ主管者轉免等ノ節ハ目錄ニ突合セ引繼可致其餘判然私有物ニシテ後証トモ可相成モノハ各地方ニ於テ相當取計致シ代價ヲ要セス相納候者ハ獻納書籍之例ヲ以テ相當賞賜可伺出且又時宜ニ依リ官吏派出檢査爲致候儀モ可有之候條其節不都合無之様豫テ其向ヘ可相達旨今般内務省ヨリ達有之候處記録文書紛亂散佚候ヲハ

後日之照會ヲ失ヒ事務ノ困難ヲ生シ不都合ニ候
 條右達ノ趣旨篤進行各町村ニ於テ公有ニ係ル書
 類ハ總テ保存之方法ヲ設ケ紛亂セサル様嚴重取
 締可致ハ勿論水火災之節燒蕩流失等ノ思無之様
 可致候依テハ在來ノ書類目錄取調來ル二月限リ
 郡役所へ差出爾後年々新製追加之分ハ翌年二月
 限目錄同所へ可差出候尤當縣官員派出檢査爲致
 候儀モ可有之候此旨相達候事
 但判然私有物ニシテ後証ト可相成書類或ハ代
 價ヲ要セス相納候者等有之候ハ、取調可伺出
 事

右布達候事

○甲第三十號(十六年六月十八日布達)

從前ノ戸長配置例ヲ廢シ每郡町村ニ組合ヲ設ケ
 每組戸長一人ヲ置ク其組合町村別紙ノ通相定本
 年七月一日ヨリ施行ス

右布達候事

組合及戸長配置ノ町村戸長配置ノ町村ハ
圖點ヲ付ス

東津輕郡 拾四組

第一組 ○安方町 新安方町 濱町 新濱町

舘貝町 新舘貝町 大町 盤町 莩町

博勞町 堤町 松森町 米町 大工町

鍛冶町 寺町 柳町 新町 計

第二組 ○浦町村 濱田村 大野村 細越村

計

第三組 ○荒川村 大別内村 金濱村 野木村

上野村 牛館村 八ノ役村 高田村 小館村

入内村 大谷村 小畑澤村 野澤村 計

第四組 ○油川村 羽白村 西田澤村 飛鳥村

計

第五組 ○沖館村 三内村 古川村 新田村

西瀧村 浪館村 岩渡村 豊田村 孫内村

計

第六組 ○新城村 石江村 岡町村 戸門村

鶴ヶ坂村 計

第七組 ○後洞村 瀬戸子村 奥内村 前田村

清水村 内真部村 左堰村 小橋村 六枚橋村

四戸橋村 中澤村 長科村 阿彌陀川村 蓬田村

郷澤村 計

第八組 ○登田村 瀬邊地村 廣瀬村 中師村

石濱村 小園村 山本村 南澤村 大平村

計

第九組 ○平館村 野田村 今津村 根岸村

石崎村 一本木村 計

第十組 ○今別村 鍋田村 大川平村 濱名村

増川村 三麻村 宇鉄村 計

第十一組 ○横内村 野尻村 四ノ石村 大矢澤村

新町野村 合子澤村 雲谷村 田茂木野村 計
 第十二組 造道村 駒込村 戸山村 澤山村
 濱館村 田屋敷村 小柳村 松森村 古館村
 戸崎村 桑原村 後港村 矢田前村 平新田村
 諏訪澤村 築木館村 八重田村 筒井村 幸畑村
 ○桑田町 計
 第十三組 ○野内村 三木木村 宮田村 瀧澤村
 馬屋尻村 矢田村 久栗坂村 淺虫村 原別村
 八幡林村 泉登村 計
 第十四組 ○小湊村 盛田村 濱子村 福島村
 沼館村 田茂木村 内童子村 松野木村 藥師澤村
 清水川村 口廣村 狩場澤村 外童子村 白砂村

東田澤村 淺所村 東瀧村 福館村 山口村
 藤澤村 小豆澤村 増田村 中野村 茂浦村
 淡稻生村 土屋村 浪打村 計
 南津輕郡 廿九組
 第一組 ○市ノ町 内ノ町 前ノ町 山形町
 鍛冶町 寺ノ町 馬喰町 甲裏町 乙裏町
 片裏町 横ノ町 上ノ町 甲大工町 乙大工町
 後大工町 元ノ町 大板町 甲徳兵衛町 乙徳兵衛町
 中ノ町 濱ノ町 寺小路 油横町 株榎木横町
 計
 第三組 ○下十川村 女鹿澤村 増館村 計
 第三組 ○水木村 久井名館村 富柳村 福館村

計
 第四組 ○樽澤村 銀村 郷山前村 吉野田村
 計
 第五組 ○浪岡村 大釋迦村 徳才子村 長沼村
 杉澤村 高屋敷村 五本松村 王余魚澤村 計
 第六組 ○本郷村 北中野村 吉内村 細埜村
 相澤村 計
 第七組 ○高館村 二双子村 竹鼻村 三島村
 赤坂村 上十川村 計
 第八組 ○矢澤村 葛埜村 水沼村 柏木堰村
 俵舛村 下俵舛村 五林村 中野目村 西中野目村
 龜岡村 吉向村 計

第九組 ○常盤村 若松村 徳下村 福島村
 神村 中島村 小畑村 計
 第十組 ○藤崎村 計
 第十一組 ○前田屋敷村 藤越村 川部村 和泉村
 天根子村 橋森村 土矢倉村 計
 第十二組 ○林崎村 深味村 長野村 太田村
 辻村 横澤村 飯田村 計
 第十三組 ○垂柳村 豊時村 諏訪堂村 大曲村
 畑中村 八反田村 田舎館村 高畑村 十三川原村
 枝川村 計
 第十四組 ○堤橋村 堂前村 東光寺村 西馬場尻村
 計

第十五組 ○ 楨梗木村 黒石村 野際村 北田中村
 東野添村 小屋敷村 東馬場尻村 飛内村 上目内澤村
 下目内澤村 計
 第十六組 ○ 花巻村 牡丹平村 石名坂村 豊岡村
 下山形村 温湯村 上山形村 南中野村 大川原村
 板留村 二庄内村 沖浦村 計
 第十七組 ○ 八幡崎村 大袋村 日沼村 新山村
 蒲田村 西野會江村 猿賀村 原村 計
 第十八組 ○ 追子野木村 尾上村 高木村 中川村
 久米村 計
 第十九組 ○ 淺瀬石村 高賀野村 袋村 計
 第二十組 ○ 本町村 大光寺村 小和森村 杉館村

鎌田村 苗生松村 松館村 館山村 松崎村
 第二組 ○ 七等 計
 第二十一組 ○ 新屋町村 長田村 中佐渡村 荒田村
 平田森村 南田中村 金屋村 李平村 計
 第二十二組 ○ 柏木町村 小杉村 四ノ屋村 石畑村
 大坊村 岩館村 原田村 石郷村 計
 第二十三組 ○ 町居村 新屋村 尾崎村 計
 第二十四組 ○ 沖館村 新館村 廣舟村 唐竹村
 小國村 葛川村 切明村 計
 第二十五組 ○ 薬師堂村 吹上村 高畑村 乳井村
 八幡館村 鱒石村 小金崎村 計
 第二十六組 ○ 石川村 大澤村 森山村 計

第二十七組 ○宿川原村 三ノ目内村 居士村 早瀬登村
 島田村 虹貝村 大鶴村 計
 第二十八組 ○藏館村 若木村 駒木村 長峯村
 唐平村 計
 第二十九組 ○礎ノ國村 古懸村 久吉村 計
 中津輕郡 二十組
 第一組 ○本町 在府町 相良町 元大工町
 森町 覺仙町 鹽分町 上白銀町 元長町
 茂森町 西茂森町 茂森新町 古堀町 古堀新割町
 新寺町 ○北新寺町 新寺町新割町 計
 第二組 ○土手町 品川町 山道町 住吉町
 新島川町 鍛冶町 鍛冶新町 北川端町 桶屋町

銅屋町 南川端町 松森町 楮町 新楮町
 紙漉町 富田町 富田新町 計
 第三組 代官町 縁町 植田町 萱町
 南瓦ヶ町 北瓦ヶ町 上瓦ヶ町 中瓦ヶ町 徳田町
 南柳町 北柳町 坂本町 田代町 西川岸町
 徒町 徒町川端町 山下町 南横町 ○和徳町
 北横町 茶畑町 茶畑新割町 計
 第四組 親方町 百石町 百石町小路 一番町
 ○東長町 元寺町 鉄炮町 上鞆師町 下鞆師町
 元寺町小路 下白銀町 笹森町 長坂町 藏主町
 大浦町 田町 田茂木町 福宜町 若黨町
 小人町 春日町 馬喰町 龜甲町 計

第五組 ○鷹匠町 馬屋町 西大工町 新町
 駒越町 平岡町 紺屋町 濱ノ町 袋町
 五十石町 計

第六組 ○富田村 原久平村 小澤村 坂本村
 常盤坂村 悪兵村 下湯口村 湯口村 黒瀧村
 計

第七組 ○堅田村 和徳村 高崎村 撫牛子村
 大久保村 津賀埜村 百田村 向外瀬村 清野袋村
 計

第八組 ○新里村 境關村 福田村 福村
 外崎村 高田村 小比内村 計

第九組 ○門外村 取上村 大清水村 堀越村

第十組 ○小栗山村 松木平村 大和澤村 一野渡村
 清水森村 計

第十一組 ○駒越村 眞土村 龍ノ口村 烏井野村
 如來瀬村 一町田村 兼平村 計

第十二組 ○宮地村 五代村 葛原村 新岡村
 新法師村 百澤村 常盤野村 松代村 計

第十三組 ○紙渡澤村 五所村 坂市村 水木在家村
 相馬村 藤澤村 大助村 澤田村 藍内村
 計

第十四組 ○國吉村 櫻庭村 米夕袋村 中畑村
 中野村 計

第十五組 ○田代村 杉ヶ澤村 大秋村 白澤村
 村市村 藤川村 居森平村 砂子瀬村 川原平村
 計

第十六組 ○船水村 藤代村 土堂村 石渡村
 鳥町村 菴中村 町田村 中崎村 三世寺村
 大川村 計

第十七組 ○種市村 青女子村 小友村 三和村
 笹館村 計

第十八組 ○賀田村 熊島村 高屋村 横町村
 八幡村 鼻和村 植田村 細越村 富桑村
 宮館村 折笠村 中別所村 計

第十九組 ○獨狐村 蒔苗村 藥師堂村 前坂村

高杉村 糠坪村 計

第二十組 ○大森村 檜木村 鬼澤村 貝澤村
 十面澤村 十腰内村 計

西津輕郡 十九組

第一組 ○本町 田中町 七ッ石町 米町
 新町 釣町 渡町 漁師町 新地町
 富根町 淀町 計

第二組 ○赤石村 日照田村 館前村 南金ヶ澤村
 深谷村 種里村 鬼袋村 小森村 一ッ森村
 姥袋村 計

第三組 ○北金ヶ澤村 柳田村 岩坂村 關村
 田野澤村 風合瀬村 轟木村 計

第四組 ○深浦村 追良瀬村 廣戸村 鱸作村
 月屋村 横磯村 計
 第五組 ○岩崎村 久田村 正道尻村 澤田村
 森山村 松神村 黒崎村 大間越村 計
 第六組 ○中村 瀧横澤村 長平村 蘆池村
 計
 第七組 ○舞戸村 南浮田村 湯舟村 小屋敷村
 建石村 北浮田村 出来島村 計
 第八組 ○森田村 中田村 山田村 床舞村
 大館村 計
 第九組 ○越水村 下福原村 三ッ館村 吹原村
 丸山村 計

第十組 ○柴田村 中館村 菊川村 千代田村
 福原村 計
 第十一組 ○木造村 上相野村 下相野村 廣須村
 玉水村 蓮花田村 濁川村 下遠山里村 計
 第十二組 ○廻堰村 妙堂崎村 野木村 木筒村
 尾原村 計
 第十三組 ○桑野木田村 上古川村 下古川村 稻盛村
 鷲坂村 計
 第十四組 ○川除村 小曲村 蘆沼村 豊田村
 蓮川村 計
 第十五組 ○兼館村 永田村 土瀧村 大畑村
 林村 善積村 出野里村 計

第十六組 ○沼崎村 千年村 吉出村 沼館村
 福富村 豊川村 穂積村 繁田村 下繁田村
 計
 第十七組 ○館岡村 菰槌村 龜ヶ岡村 大湯町村
 筒木坂村 平瀧村 計
 第十八組 ○車力村 牛瀨村 下牛瀨村 下車力村
 豊富村 富范村 計
 第十九組 ○十三村 計
 北津輕郡 二十二組
 第一組 ○五所所川原村 計
 第二組 ○柏木村 高増村 大俵村 牡丹森村
 孤森村 五幾形村 計

第三組 ○横池村 瀬良澤村 梅田村 中泉村
 計
 第四組 ○常海橋村 五林平村 夕顔關村 館野越村
 瀧井村 計
 第五組 ○板屋野木村 灰沼村 福野田村 欠落林村
 三千石村 赤田村 小橋村 計
 第六組 ○胡桃館村 境村 野中村 石野村
 沖村 中野村 山道村 計
 第七組 ○鶴田村 大姓村 葛蒲川村 鶴泊村
 強卷村 大卷村 計
 第八組 ○稻實村 廣田村 七ヶ館村 姥池村
 湊村 吹畑村 石岡村 漆川村 唐笠柳村

計	第九組	○川山村	田川村	新宮村	長橋村
	種井村	沖飯館村	櫻田村	計	
	第十組	○鶴ヶ岡村	森川村	高瀬村	計
	第十一組	○原子村	高野村	下石川村	持子澤村
	新田野目村	羽野木澤村	俵元村	計	
	第十二組	○野里村	神山村	松野木村	戸澤村
	豊成村	福山村	浅井村	計	
	第十三組	○金山村	氷野尾村	太刀打村	米田村
	一野坪村	計			
	第十四組	○飯詰村	下岩崎村	計	
	第十五組	○嘉瀬村	長富村	毘沙門村	中柏木村

計	第十六組	○金木村	喜良市村	詩田村	神原村
	川倉村	藤枝村	計		
	第十七組	○宮野村	豊島村	豊岡村	福瀬村
	蘆野組	田茂木村	長泥村	計	
	第十八組	○中里村	深瀬田村	八幡村	大澤内村
	宮野澤組	宮川村	計		
	第十九組	○薄市村	尾別村	高橋村	今泉村
	計				
	第二十組	○相内村	太田村	計	
	第二十一組	○脇元村	磯松村	計	
	第二十二組	○小泊村	計		

上北郡 十四組

第一組 ○野邊地村 馬門村 有戸村 計

第二組 ○横濱村 計

第三組 ○天間館村 花松村 野崎村 中軸村

附田村 ○二之森村 榎林村 計

第四組 ○甲地村 計

第五組 ○七石村 計

第六組 ○新館村 大浦村 上野村 計

第七組 ○洞内村 天澤田村 馬洗場村 立崎村

八斗澤村 深持村 計

第八組 ○三本木村 赤沼村 切田村 相坂村

折茂村 計

第九組 ○平沼村 倉内村 鷹架村 尾殿村

沼村 出戸村 計

第十組 ○犬落瀬村 柳町村 小平村 鶴喰村

上吉田村 下吉田村 計

第十一組 ○百石村 下田村 計

第十二組 ○三澤村 天夕森村 計

第十三組 ○藤島村 傳法寺村 米田村 瀧澤村

大不動村 計

第十四組 ○澤田村 奥瀬村 法量村 計

下北郡 五組

第一組 ○田名部村 大平村 大湊村 城夕澤村

關根村 奥内村 中野澤村 計

第二組 ○大利村 目名村 蒲野澤村 野牛村
 猿ヶ森村 尻勞村 岩屋村 尻屋村 田屋村
 砂子又村 小田野澤村 白糠村 計
 第三組 ○大畑村 正津川村 下黒呂村 計
 第四組 ○大間村 易國間村 蛇浦村 奥戸村
 佐井村 長後村 計
 第五組 ○川内村 檜川村 宿野部村 網崎村
 小澤村 脇野澤村 計
 三戸郡 廿五組
 第一組 ○長横町 八幡町 堀端町 常海町
 窪町 番町 馬場町 堤町 本徒士町
 徒士町 稻荷町 新荒町 荒町 上組町

常番町 ○廿三日町 廿六日町 上徒士町 町組町
 本鍛冶町 鳥谷部町 十三日町 十六日町 山伏小路
 鍛冶町 大工町 寺横町 鷹匠小路 岩泉町
 三日町 六日町 八日町 朔日町 十八日町
 十一日町 廿八日町 下大工町 搦町 柏崎新町
 下組町 栢崎村 計
 第二組 ○中居林村 類家村 田向村 石手洗村
 糠塚村 是川村 計
 第三組 ○小中野村 計
 第四組 ○濱通村 金濱村 大久保村 計
 第五組 ○十日市村 新井田村 妙村 松館村
 計

第六組	○角柄折村	平内村	田代村	晴山澤村
金山澤村	赤保内村	鳥谷部村	道佛村	計
第七組	○寶市村	沼館村	澤里村	根城村
田面木村	八幡村	櫛引村	坂牛村	上野村
計				
第八組	○河原木村	石堂村	長苗代村	根岸村
大佛村	花崎村	根市村	境澤村	尻内村
計				
第九組	○劔吉村	斗賀村	虎渡村	計
第十組	○苦米地村	高橋村	小泉村	麥澤村
片岸組	計			
第十一組	○島守村	頃卷澤村	計	

第十二組	○上名久井村	下名久井村	平村	高瀬村
法光寺村	鳥谷村	鳥舌内村	計	
第十三組	○法師岡村	藤越村	福田村	柘木村
堀渡村	杉澤村	計		
第十四組	○中野村	市澤村	泥障作村	大森村
泉清水村	計			
第十五組	○在府小路町	同心町	八日町	馬喰町
二日町	六日町	川守田町	久慈町	目時村
梅内村	泉山村	豊川村	川守田村	計
第十六組	○斗内村	袴田村	貝守村	計
第十七組	○田子村	相米村	原村	石龜村
遠瀬村	山口村	關村	夏坂村	茂市村

- 計
- 第十八組 ○小向村 大向村 蛇沼村 計
- 第十九組 ○沖田面村 相内村 玉掛村 赤石村
- 計
- 第二十組 ○五戸村 計
- 第二十一組 ○上市川村 切谷内村 下市川村 計
- 第二十二組 ○中市村 石澤村 又重村 計
- 第二十三組 ○戸來村 計
- 第二十四組 ○西越村 手倉橋村 計
- 第二十五組 ○扇田村 淺水村 豊間内村 七崎村
- 計

○乙第百八十八(十六年七月四日達)

郡役所、戸長役場
 今般甲第三十號布達ニ依リ、廢職ノ戸長ハ本月十五日以内舊事務取纏メ新任戸長ニ引渡サナスヘシ、萬一右日限ヲ經過引渡方結了致サ、ルモ月俸ハ給與致サス候條此旨相達候事

○乙第百九十五號(十六年七月六日達)

郡役所、戸長役場
 元來郵便物ノ儀ハ表記ノ不充分ナルコト、誤達或ハ沒書トナリ要事ヲ欠クニ至リ候ニ付勉メテ詳明記載スヘキ筈ノ處各戸長役場トノ往復信書封表單ニ第何組戸長役場トノ記載差出候向有之郵便局ニ於テ配達方ハ勿論返戻ニモ差圖自然取

調ノ爲メ溢滞ニ涉リ候趣相聞ヘ右ノ該局ノ手數
ノミナラス往々事務上ニ差支ヲ生シ不都合ノ次
第二候條自今戶長役場名ノ信書ハ必ス其肩書ニ
所在郡町村名ヲ明記シ差出スヘシ此旨相達候事
○甲第三號(十七年一月十五日布達)
客年(十二月)第四十三號布告ニ依リ人民ノ家宅内
ニ立入り証憑取調ノ處分ヲ爲ス場合ニ於テ事宜
ニヨリ主任官ヨリ其地戶長若クハ隣佑ノ者ヲ立
會セシムヘシ

右布達候事
○乙第二百三十七號(十七年七月二十五日達)

本年第十三號公布ニ付昨十六年七月本縣乙第二

百十五號同八月乙第二百五十八號同十月乙第三
百二十三號同月乙第三百三十七號達相廢止戶長
以下ノ旅費ハ悉皆地方稅ヲ以テ支辨候十五年六
月本縣乙第四百十九號達地方費旅費定則戶長旅
費ハ二
等筆生ハニ據リ郡内外ノ區分ヲ以テ部内外ノ相
當ヲ支給候儀ト可相心得此旨相達候事

○乙第二百七十六號(十七年八月廿五日達)

戶長役場ニ於テ筆生ヲ備解シ又ハ給料ヲ増減セ
ントスルトキハ豫メ郡長ニ具狀シ指揮ヲ請フ可
シ此旨相達候事

但現在ノ人員及其給額ハ郡長ニ届出ヘシ

○

參照(十一年八月廿六日內務省乙第五十四號達)(戶長ハ町村人民ニ於テ可成ハ公撰セシム)
 十五年十二月廿八日第七十一號公達(戶長身分取扱改定)
 十七年五月七日第四十一號公達(戶長ハ府知事縣令ニ於テ撰任セシム)
 十七年五月七日內務省乙第二十五號達(戶長撰舉方ハ區町村會議員撰舉ノ例ニ準據スヘシ)
 十七年五月廿六日內務省乙第二十七號達(戶長以下ニ屬スル諸給與ハ渾テ地方稅ヨリ支辨ス)

第二十貳款 縣會

○乙第二百八十四號(十五年十一月十五日達)

郡 役 所

縣會議員撰舉被撰舉權調査之際甲者ヨリ乙者ニ

土地賣買讓渡約定之者ハ地券狀名前書換ノ日ヲ以地租納額算入ノ分界相立之儀ト可心得此旨相達候事

參照

明治十三年四月八日第十五號布告(府縣會規則改正)
 同十三年十一月五日第四十九號布告(同上追加)
 同十四年二月十四日第四號布告(同上追加削除)
 同十四年同全第六號布告(府縣會ハ其議定スヘキ事件中細目ニ係ル事項ヲ以テ區町村會等ノ議決ニ付スルヲ得)
 同十四年七月四日內務省甲第四號布達(議員改撰ノ上其就職交替ノ手續ハ府縣會ニ議定セシ)

ムル件)

同十五年二月二日第十一號公達(内務卿へ建議
スル場合)於テ開會中議員建議書ヲ携帶上京
相成ラス)

同十五年二月十四日第十號布告(府縣會規則中
改正追加)

同十五年十二月廿八日第六十八號布告(府縣會
規則中追加)

同上第七十號布(自告他府縣會議員聯合集會シ
又ハ往復通信スルコトヲ許サレル等ノ件)

○第二十三款 町村會同聯合會

○乙第三百三十四號(十二年四月九日達)

郡役所、戸長役場

町村聯合會并一町村會ハ警察官臨席致シ候條開

會以前必ラス其戸長ヨリ最寄警察署(本分ヲ問ハ
ス)へ通報致スヘシ此旨相達候事

但會議ノ當日警察官臨席無之トモ差扣ニ及ハ
ス開會可致事

○乙第七十三號(十三年三月三十日達)

郡役所、戸長役場

町村聯合會并町村會ハ開會前最寄警察署へ通報
可致旨昨十二年四月乙第三百三十四號ヲ以テ相達
置候處開會當日ニ至リ報告致シ候向モ有之差支
候ニ付自今必ス開會前日迄ニ可致通報此旨相達
候事

○乙第四百四十六號(十七年五月十九日達)

郡役部、戸長役場

本月七日付第十四號公布相成候ニ付町村會開設見合之儀同月十五日付乙第三百二十九號ヲ以相達置候處今般町村會及町村聯合會規則發布候ニ付テハ從來ノ議員消滅候ニ付更ニ議員ヲ撰舉シ速ニ開會可致此旨相達候事

○甲第三十八號(十七年五月十九日布達)

今般第十四號ヲ以區町村會法公布相成候ニ付テハ町村會規則及聯合町村會規則別冊之通相定ム右布達候事 (分裂シテ各款ニ散記ス)

青森縣町村會規則

第一章 總則

第一條 町村會ハ通常會ト臨時會ノ二類ニ分ツ其定期ニ於テスル者ヲ通常會トシ臨時ニ開ク者ヲ臨時會トス

第二條 臨時會ハ其特ニ會議ヲ要スル事件ニ限リ其他ノ事件ヲ議スルヲ得ス

第三條 町村會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ其町村費ノ收支ニ係ル前年度ノ決算報告書ヲ受ケ戸長又ハ其代理人ニ說明ヲ求ムルヲ得

第四條 町村會ハ前條決算報告書ニ對シ意見アルカ又ハ議案若クハ開會ノ手續ニ對シ意見アルキハ議長ノ名ヲ以テ直ニ郡長若クハ縣令ニ具狀スルヲ得此場合ニ於テハ戸長ハ議員中

ヨリ議長ヲ指定スル者トス

第五條 通常會期中議員ノ内二名以上ノ發議ヲ以テ其町村ノ利害ニ關スル事件ニ付建議セシトスルモノアルハ先ツ議長ノ許可ヲ得之ヲ會議ニ付シ可決スルハ其會ノ所見トシ議長ノ名ヲ以テ郡長若クハ縣令ニ建議スルヲ得但臨時會ニ於テハ其會議ヲ要シタル事件ニ限リ建議スルヲ得

第六條 町村會ハ其町村ニ施行スヘキ事件ニ付縣令若クハ郡長ヨリ意見ヲ問フコトアルハ其意見ヲ述フルモノトス

第七條 議事細則ハ戶長之ヲ定メ縣令ノ認可ヲ

得テ之ヲ施行スヘキ

第八條 町村會ハ議員ノ内招集ニ應セス又ハ事故ヲ告ケスニ參會セサル者ヲ審査シ其退職者タルヲ決スルヲ得

第二章 撰舉

第九條 町村會ノ議員ハ其町村ヨリ五名以上十名以下ヲ撰舉スルモノトス但其員數ハ戶長之ヲ定ム

第十條 議員ハ俸給ナシ但開會ノ節旅費日當若クハ辨當料ヲ給ス

第十一條 書記ハ議長之ヲ撰シ庶務ヲ整理セシム其俸給ハ會費ノ中ヨリ之ヲ支給ス

第十二條 議員ノ撰舉ハ戸長ニ於テ少ナクモ五日以前ニ撰舉會ヲ開クヘキ旨ヲ公告シ其町村役場ニ於テ投票ヲ爲サシムヘシ但シ便宜ニ依リ役場外ニ於テ撰舉會ヲ開クコトヲ得

第十三條 投票ハ豫定ノ日之ヲ戸長ニ出スヘシ但シ代人ニ托シ差出スモ妨ケナシ

第十四條 投票ハ撰舉人ノ面前ニ於テ戸長之ヲ披閱シ最多數ノ者ヲ以テ當撰人トシ同數ノ者ハ年長ヲ取リ同年ノ者ハ圖ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 投票終ルノ後戸長ハ撰舉人及ヒ被撰舉人ノ當否ヲ查シ若シ規則ニ於テ不適當ナル者アルカ或ハ當撰人自ラ其撰ヲ辭スルキハ願

次投票ノ多數ヲ得タル者ヲ取ル

第十六條 當撰人ノ當否ヲ査定スルノ後戸長ハ其當撰人ヲ役場ニ呼出シ當撰狀ヲ渡シ當撰人ハ請書ヲ出スヘシ但シ當撰人請書ヲ出シタル後戸長ハ其姓名ヲ其町村内ニ公告スヘシ

第十七條 議員ノ任期ハ六年トシ三年毎ニ全數ノ半ヲ改撰ス但シ第一回三年期ノ改撰ヲ爲スハ抽籤ヲ以テ其退任ノ人ヲ定ム

第十八條 前條ノ場合ニ於テハ前任ノ者ヲ再撰スルコトヲ得

第十九條 議員中町村外ニ轉住スルカ其他總テ欠員アルキハ更ニ之ニ代ルモノヲ撰舉ス

第三章 議則

第二十條 議員半數以上出席セサレハ當日ノ會議ヲ開シテ得ス

第二十一條 會議ハ過半數ニ因テ決ス可否同數ナルキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第二十二條 戶長又ハ其代理人ハ會議ニ於テ議案ノ旨趣ヲ辨明スルコトヲ得但議決ノ數ニ入ルコトヲ得ス

第二十三條 會議ハ傍聽ヲ許ス但戶長ノ要メニ依リ又ハ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

第二十四條 議員ハ會議ニ方リ充分討論ノ權ヲ

有ス然レド人身上ニ付テ褻賤毀譽ニ涉ルコトヲ得ス

第二十五條 議場ニ整理スルハ議長ノ職掌トス若シ規則ニ背キ議長之ヲ制止シテ其命ニ從ハサル者アルハハ議長ハ之ヲ議場外ニ退去セシムルコトヲ得其強暴ニ涉ル者ハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四章 開閉

第二十六條 通常會ハ毎年一度四月ニ於テ之ヲ開シ其開閉ハ戶長ヨリ之ヲ命シ會期ハ七日以内トス

第二十七條 通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件

アルトキハ片長ハ臨時會ヲ開クイヲ得其會期ハ三日以内トス但該會ヲ要スル事由ヲ直ニ縣令及ヒ郡長ニ報告スルニシ

第二十八條 開會ニ臨ミ欠員ヲ生シ補欠員ヲ撰舉スルノ暇ナキハ其撰舉ヲ俟テ開會スルヲ得

但過半數ニ滿メザルハ此限ニテナス
青森縣聯合町村會規則

第一章 總則

第一條 聯合町村會ハ通常會ト臨時會トノ二類ニ別ツ其定期ニ於テ開ク者ヲ通常會トナシ臨時ニ開ク者ヲ臨時會トナス

第二條 臨時會ハ其特ニ會議ヲ要スル事件ニ限リ其他ノ事件ヲ議スルコトヲ得ス

第三條 聯合町村會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ其聯合町村費ノ收支ニ係ル前年度ノ決算報告書ヲ受ケ郡長若クハ片長又ハ其代理人ニ説明ヲ求ムルコトヲ得

第四條 聯合町村會ハ前條決算報告書ニ對シ意見アルカ又ハ議案若クハ開會ノ手續ニ對シ意見アルハ議長ノ名ヲ以テ直ニ郡長若クハ縣令ニ具狀スルコトヲ得此場合ニ於テハ郡片長ハ議員中ヨリ議長ヲ指定スル者トス

第五條 通常會期中議員ノ内二人以上ノ發議ヲ

以テ其聯合町村ノ利害ニ關スル事件ニ付建議
 セントスルモノアルハ先議長ノ許可ヲ得之
 テ會議ニ付可決スルトキハ其會ノ所見トシ
 議長ノ名義ヲ以テ郡長若クハ縣令ニ對シ建議
 スルヲ得
 但臨時會ニ於テハ其會議ヲ要シタル事件ニ
 限リ建議スルヲ得
 第六條 聯合町村會ハ其聯合町村内ニ施行スヘ
 キ事件ニ付縣令若クハ郡長ヨリ意見ヲ問フ事
 アルハ其意見ヲ述ブルモノトス
 第七條 議事細則ハ郡長若クハ戶長之ヲ定メ縣
 令ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スヘシ

第八條 聯合町村會ハ議員ノ内招集ニ應セス又
 事故ヲ告グシテ參會セサル者ヲ審査シ其
 退職者ハ決スルヲ得

第二章 選舉

第九條 聯合町村會ノ議員ハ其聯合ヲ要スル各
 町村會若クハ各聯合町村會議員中ヨリ左ノ範
 圍内ニ於テ郡長若クハ戶長其區域ヲ分チ員數
 ヲ定メ互撰セシムヘシ但町村會ナキ町村ニ於
 テハ其町村人民ヨリ撰舉スルモノトス
 聯合セシ町村戶長 八名以上
 役場一組ナルハ 十五名以上
 同上二組ナルハ 十六名以上
 二十名以下

同組以上ナルキハ 廿一名以上

同郡総組ナルキハ 廿六名以上

同 上前敷項ノ組合ニ拘ラサルモ

ノアルキハ十五町村以下ハ八名以上十五名以下、十六町村以上三十町村以下ハ十六名以上二十名以下、三十一町村以上ハ廿一名以上廿五名以下

第十條 議員ハ俸給ナシ但開會ノ節旅費日當若クハ辨當料ヲ給ス

第十一條 書記ハ議長之ヲ撰ヒ庶務ヲ整理セシム其俸給ハ會費ノ中ヨリ之ヲ支給ス

第十二條 聯合町村會議員ノ撰舉會ハ戸長ニ於テ其時日及會場ヲ定メ其聯合ヲ要スル各町村會若クハ各聯合町村會議員ニ告達スヘキモノトス

但郡長施行者タル場合ニ於テハ戸長ニ示達シ本條ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第十三條 撰舉ノ投票ハ豫定ノ時日會場ニ於テ之ヲ爲スモノトス但投票ハ代人ニ托シ差出スル妨ナシ

第十四條 投票ハ撰舉人ノ面會ニ於テ戸長之ヲ披閱シ其最多數ヲ得タルモノヲ以テ當撰人トナシ同數ナレハ年長ヲ取り同年ナレハ圖ヲ以

第十五條 投票終ルノ後戸長ハ其當撰人ヲ戸長
 役場ニ呼出シ當撰狀ヲ渡シ當撰人ハ請書ヲ差
 出スヘシ
 第十六條 當撰人自ラ其撰ヲ辭スルキハ順次投
 票ノ多數ヲ得タル者ヲ取ル
 第十七條 議員ノ任期ハ六年トシ六年毎ニ全數
 ノ半ヲ改撰ス第一回三年期ノ改撰ハ抽籤法ヲ
 以テ其退任ノ人ヲ定ム
 第十八條 聯合町村會議員ハ其任期内ト雖モ其
 本屬各町村會若シハ各聯合町村會議員本分ノ
 任期ヲ終ヘタルモノ及ヒ他ノ事故ヨリ該議

員ノ資格ヲ失ヒタルモノハ其任ヲ解クモノト
 ス
 第十九條 前二條ノ場合其他總テ欠員アルキハ
 更ニ之ニ代ル者ヲ撰舉ス
 第二十條 前條ノ場合ニ於テハ前任ノ者ヲ再撰
 スルコトヲ得
 第三章 議則
 第十一條 議員半數以上出席セザレハ當日ノ會
 議ヲ開クコトヲ得ス
 第十二條 會議ハ過半數ニ因テ決ス可否同數ナ
 ルキハ議長ノ可否スル所ニ依ル
 第十三條 郡長若クハ戸長又ハ其代理人ハ議案

ノ旨趣ヲ辨明スルヲ得但決議ノ數コ入ルコトヲ得ス

第廿四條 會議ハ傍聽ヲ許ス但郡長戸長ノ要メニ依リ又ハ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルヲ得

第廿五條 議員ハ會議ニ方リ充分討論ノ權ヲ有ス然レモ人身上ニ付テ褻賤毀譽ニ涉ルヲ得ス

第廿六條 議場ヲ整理スルハ議長ノ職掌トス若シ規則ニ背キ議長之ヲ制止シテ其命ニ從ハサル者アルハ議長ハ之ヲ議場外ニ退去セシムルヲ得其強暴ニ涉ル者ハ警廳官吏ノ處分ヲ

求ムルヲ得

第四章 開閉

第廿七條 通常會ハ毎年一度四月ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ郡長若クハ戸長ヨリ之ヲ命シ會期ハ十日以内トス

第廿八條 通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルトキハ郡長若クハ戸長ハ臨時會ヲ開クヲ得得其會期ハ三日以内トス但該會ヲ要スル事由ヲ直ニ縣令及ヒ郡長ニ報告ス可シ

第廿九條 開會ニ臨ミ欠員ヲ生シ補欠員ヲ撰舉スルノ暇ナキハ其撰舉ヲ俟タズ開會スルヲ得

但過半數ニ滿タサルキハ此限ニアラス

○甲第四十號(明治十七年五月十九日布達)

今般改正相成候區町村會法第十三條ニ係ル數町村聯合會區域ハ是迄之通据置ク
右布達候事

○乙第四百四十八號(十七年五月二十日達)

郡役所、戶長役場

本年本縣甲第三十八號町村會規則第十一條同聯合町村會規則第十條ニ依リ議員給與規則左ノ通相定候條此旨相達候事

但本則ハ議會ヘ達シ置クヘシ

町村會議員給與規則

第一條 町村會及聯合町村會ノ議員給與ノ金額

ハ左ノ各條ニ據リ支給スルモノトス

第二條 議員往返旅費ハ片道三里以上四里未滿

金貳拾錢四里以上ハ一里ヲ加フル毎ニ金十錢

宛ヲ增シ三里未滿ハ之ヲ給セサルモノトス

第三條 議員三里以上ノ者ハ滞在日當一日金五

拾錢ヲ給シ三里未滿ノ者ハ辨當料トシテ一日

金拾錢ヲ支給スルモノトス

但三里未滿ノモノト雖一泊スルキハ辨當

料トシテ金三十錢ヲ給ス

第四條 滞在日當ハ若翌日ヨリ出發前日迄ヲ給

シ辨當料ハ出場ノ日ニ限リ支給スルモノトス

第五條 書記ノ給料及旅費ノ金額ハ議會ノ決テ
取リ議長之ヲ定メ支給スルモノトス

○乙第百五十二號(十七年五月廿三日達)

本年本縣甲第三十八號布達聯合會規則第三條以
下ニ於テ往々郡長戸長兩様ニ涉リタハ文詞アル
ハ本年第拾四號布告第十五條ノ如ク聯合町村會
ハ戸長之ヲ管理シ當然ナリト雖同條中ノ明文ニ
因リ縣令ニ於テ便宜郡長ヲシテ管理セシムルコ
トアルニ起因シタルモノナリ因テ一郡總町村聯
合會若シハ二郡以上ノ聯合會ヲ要スルキハ郡長
ヲシテ管理施行セシメ其他ノ聯合會ニ於テハ特
ニ指揮スルモノヲ除ク外總テ戸長シテ管理施行

セシムルニ可相心得此旨相達候事

○甲第四十九號(十七年六月七日布達)

聯合町村會ハ其議定スヘキ徵收方法中細目ニ係
ル事項ヲ以テ町村會ノ決議ニ付スルヲ得ヘシ
右布達候事

○甲第五十四號(十七年六月十一日布達)

本年(五月)甲第三十八號ヲ以町村會規則及聯合町
村會規則布達候處地方ノ情况ニ依リ町村各自議
會ヲ開クヘキ要用ナク或ハ戸數僅少ニシテ開ク
ヲ得ザルモノハ每町村限リ會議ヲ設ケス數町村
若シハ戸長一組内聯合會ヲ開クヲ得ヘシ但此場
合ニ於テ議員撰舉ノ法ハ聯合町村會規則第九條

但書ニ據ルヘシ

右布達候事

○乙第百八十五號(十七年六月十七日達)

郡役所、戸長役場

町村會及聯合會議事細則ノ儀ハ郡長戸長ニ於テ之ヲ定メ認可ヲ以テ施行スヘキ等ニ候成過般主務課ヨリ交付爲致置候議事細則ニ據リ別段増減ヲ要セサル分ハ町村會規則第七條聯合町村會規則第七條ノ手續ヲ經ス直ニ施行シ苦シカラス此旨相達候事

聯合町村會議事細則

第一條 議事ハ午前第九時ニ始マリ午後第四時

ニ終ル時宜ヲ以テ之ヲ伸縮スルハ議長ノ指揮ニ依ルヘシ

第二條 議員ノ席次ハ圖取ヲ以テ豫メ之ヲ定ムヘシ

第三條 議事中ハ議員ノ姓名ヲ稱ヘスンテ席次ノ番號ヲ用ユヘシ

第四條 發言セント欲スルモノハ起立シテ議長何番番外何番ト呼ビ其許可ヲ受クヘシ議案ノ總体或ハ其一條ニ付議長自ラ其説明ヲナシシトテ要スルキハ議場ニ向ヒ其由ヲ演ヘ議員中ヨリ議長ヲ指定シ席ヲ讓リ番外ノ席ニ就キ之ヲ説明シ其總体或ハ其一條ヲ議決シタル後

ヲ待テ再ヒ議長ノ席ニ復スヘシ

第五條 議長ニ於テ無用ノ論說ヲ爲ス者若クハ本則ヲ犯ス者アリト認ムルキハ之ヲ制止スルヲ得

第六條 議長ハ議員ノ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スレトヲ得

第七條 議題ノ外議事中ニ起リタル總テノ事件ハ議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

第八條 議案又ハ報告書ハ豫メ之ヲ議員ニ頒布スヘシ

第九條 議事ヲ開クキハ議長書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシムヘシ

第十條 議事ハ第一次第二次第三次ノ三會ニ區別ス

第十一條 第一次會ニ於テハ議案ニ付質問ヲナスモノトス

第十二條 第二次會ニ於テハ議案ノ大体ニ就キテ之ヲ議決スルモノトス

第十三條 第三次會ニ於テハ議案ノ條項ヲ逐ヒ之ヲ討論議決スルモノトス

第十四條 修正說ハ第三次會ニ於テ之ヲ提出スルヲ得但賛成者ナキモノハ之ヲ議題ト爲スヲ得ス

第十五條 修正說ヲ提出セント欲スル者ハ録シ

テ文案ト爲シ之ヲ議長ニ出シ又ハ議席ニ於テ
陳述スルヲ得

第十六條 修正説ノ一旦否決セルモノハ再ヒ之
ヲ提出スルヲ得ス

第十七條 出席ノ議員ハ可否ノ數ニ入ラサルヲ
得ス

第十八條 可否ヲ決スルノ法ハ議長之ヲ起立ニ
問ヒ又ハ投票セシムルヲアルヘシ

第十九條 會議ノ都合ニヨリ議長ハ條項ノ順序
ヲ先後シ之ヲ議セシムルヲ得

第二十條 修正説ハ議案ニ先テ可否ヲ決スヘ
シ其說數多ナルキハ最モ原案ニ異ナルモノヲ

先ニス其先後ニ論アルキハ議長之ヲ決ス

第二十一條 辨論未ク終ラスト雖モ議長ニ於テ論
旨既ニ尽キタリト認ムルキハ其議題ノ決ヲ取
ルヲ得

第二十二條 可否ノ數ハ書記之ヲ檢査シ其決定ハ
議長之ヲ陳告ス

第二十三條 議長ハ議員二名以上ノ請求ニ因リ委
員ヲ撰ミ修正案ヲ査理セシメントスルキハ會
議ノ決ヲ取ルヘシ

第二十四條 委員ハ其付托セラレタル修正按ノ條
項ヲ轉置シ字句ヲ修飾シ欠條ヲ補足スルニ止
マリ其議決セル大体ノ意義ヲ變更スルヲ得

第廿五條 修正説ヲ提出シタル者ハ委員會ニ列シ其主意ヲ辨明スルヲ得但可否ノ數ニ入ラズ

第廿六條 議員欠席スルキハ其事由ヲ議長ニ届出ヘシ

第廿七條 遅参ノ議員ハ議長ノ許可ヲ得テ議席ニ着クヘシ

第廿八條 議事中ハ議長ノ許可ヲ得サル者ハ議席ヨ入ルヲ許サズ

第廿九條 議事中ハ議員漫ニ議席ヲ退クヲ許サズ

第三十條 議事中ハ議員相私語シ及ヒ總テ議事ヲ妨グルノ舉動アルヲ許サズ

○乙第百九十七號(十七年六月十八日達)

郡役所、戸長役場

自今聯合町村會及町村會開場中當該官吏ヲ臨視セシムルヲアルヘシ此旨相達候事

參照

明治十五年五月十日第二十二號布告
 課税ニ關スル處分ニ就キ不服アリテ出訴セシトスル者ハ先ツ其旨ヲ申立課額ヲ上納シ領收證書ヲ添ヘ其翌日ヨリ六十日内ニ訴出ツヘシ但納税期限前ニ訴出テ訴訟中ト雖モ其期限

ニ至レハ課額ヲ上納スヘシ
 明治十七年五月七日第拾四號布告
 明治十三年四月第拾八號布告區町村會法左ノ
 通改正ス
 區町村會法
 第一條 區町村會ハ區町村費ヲ以テ支辨スヘ
 キ事件及其經費ノ支出徵收方法ヲ議定ス
 第二條 區町村會ノ會期議員ノ員數任期改選
 及其他ノ規則ハ府知事縣令之ヲ定ム
 第三條 區會ハ區長之ヲ招集シ其議案ヲ發ス
 町村會ハ戶長之ヲ招集シ其議案ヲ發ス
 第四條 區會ノ評決ハ區長之ヲ施行シ町村會
 ノ評決ハ戶長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適
 當ナリトスルトキハ其施行ヲ止メ府知事縣
 令ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ
 第五條 區長ニ於テ區會郡區長戶長ニ於テ町

村會ノ議事若シ法ニ背キ又ハ治安ヲ害スル
 コトアリト認ムルトキハ其會議ヲ中止シ府
 知事縣令ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ
 第六條 府知事縣令ニ於テ區町村會ノ議事若
 シ法ニ背キ又ハ治安ヲ害スルコトアリト認
 ムルトキハ何時ヲリトモ區町村會ヲ停止シ
 又ハ之ヲ解散シテ改選セシムルコトヲ得
 第七條 前條ノ場合ニ於テ停止又ハ解散ヲ命
 シタルトキハ更ニ開會ヲ命シ又ハ改選スル
 迄ノ間區長戶長ハ經費ノ支出徵收方法ヲ定
 メ府知事縣令ノ認可ヲ得テ施行スルコトヲ
 得
 第八條 區町村ニ於テ議員ヲ選舉セス又ハ議
 員招集ニ應セスシテ會議ヲ開クヲ得ス及議
 定スヘキ議案ヲ議定セス又ハ會期內ニ於テ
 議案ヲ評決シ終ラサルトキハ前條ノ例ニ依

第九條 議員ヲ撰舉スルヲ得ヘキ者ハ滿二十歲以上ノ男子コシテ其區町村ニ住居シ其區町村内ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル但府縣會規則第十三條第一款第二款第三款ニ觸ル者及陸海軍々人現役ノ者ハ撰舉人タルコトヲ得ス

第十條 議員タルコトヲ得ヘキ者ハ滿二十五歲以上ノ男子コシテ其區町村ニ住居シ其區町村内ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル但府縣會規則第十三條第一款第二款第三款第四款ニ觸ル者ハ議員タルコトヲ得ス

第十一條 區會ノ議長ハ區長、町村會ノ議長ハ戶長ヲ以テ之ニ充ツ區長戶長若シ事故アルトキハ區長戶長ニ於テ議員中ヨリ議長ヲ指定スルコトヲ得

第十二條 府知事縣令其管轄内ニ於テ町村會ヲ開設シ得ヘカラサル狀況アルヲ認ムルトキハ内務卿ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第十三條 府知事縣令ハ數區町村ニ關涉スル事件アルトキ其區域ヲ定メテ聯合區町村會ヲ開設スルコトヲ得

第十四條 府知事縣令ハ水利土功ニ關スル事項ニシテ區町村會若クハ聯合區町村會ニ於テ評決スルヲ得サルモノアルトキ特ニ其區域ヲ定メテ水利土功會ヲ開設スルコトヲ得

第十五條 聯合區町村會及水利土功會ハ總テ本法ニ準據ス其區域區長戶長數人ノ所轄ニシテ管理セシム但戶長ヲシテ其評決ヲ施行セシムルコトアルヘシ

明治十七年五月七日第十五號布告
 區町村會ニ於テ評決シタル區町村費及ヒ水利
 土功會ニ於テ評決シタル土木費ノ怠納者ハ總
 テ明治十年十一月第七十九號布告ニ據リ處分
 ス可シ若シ財産公賣ノ際買受人ナキハ官
 沒ノ手續ヲ爲サス郡區長又ハ戶長ニ於テ管掌
 シ會議ノ評決ヲ取リ府知事縣令ノ認可ヲ得テ
 處分スヘシ

但明治十四年四月第二十四號布告ハ廢止ス

明治十七年七月四日第二十三號布告

區町村會ニ於テ評決シタル區町村費ニ關シ不
 服アリテ出訴セシトスルモノハ都テ明治十五
 年五月第二十二號布告ニ依ルヘシ

○第二十四款 町村費

○甲第三十九號(明治十七年五月十九日布達)

町村費規則別冊之通相定ム
 右布達候事

町村費規則

第一條 町村費ハ左ノ目ニ從ヒ之ヲ徵收ス

- 一 地價割
- 一 營業割
- 一 戶別割
- 一 反別割

第二條 營業割ハ地方税ニ屬スル營業稅雜種稅
 ノ種類ニ限リ之ヲ徵收スルモノトス

第三條 戸別割ハ毎戸ノ分限ニ應シ其差等ヲ立

テ之ヲ徴收スルモノトス
第四條 反別割ハ水利土功及地所取調等ニ係ル

諸費ニ限リ割賦スルモノトス
但各徴收科目ハ現品又ハ人馬ヲ以徴收スル

コヲ得
第五條 町村費ヲ以テ支辦スヘキ費目左ノ如シ

- 一 戸長役場諸費
- 一 町村會議諸費
- 一 町村土木費
- 一 町村教育費
- 一 町村衛生費

一 救助費

一 災害豫防及警備費

右ノ外特ニ費目ノ増加ヲ要スルキハ郡長若クハ戸長ヨリ縣令ニ具狀シ指揮ヲ請フヘシ

第六條 郡長若クハ戸長ハ其年三月迄ニ翌年度ニ於テ支辨スヘキ經費并ニ徴支ノ豫算ヲ立テ町村會ノ評決ヲ取リ其年五月ヲ以テ縣令ニ報告ス可シ

第七條 敷年ヲ期シテ施行ヲ要スル事件ハ初年ニ於テ其年期間各年度ノ經費并ニ徴收ノ豫算ヲ定メ町村會ノ評決ヲ取リ郡長若クハ戸長ヨリ縣令ニ具狀シ認可ヲ以テ其年期間之ヲ施行

スルヲ得

但戸長ハ郡長ヘモ報告スヘシ

第八條 費目中臨時已チ得サル事故アリ豫算ニ
不足ヲ生スル時ハ郡長若クハ戸長ハ町村會ノ
評決ヲ取り其補充費ヲ徵收スヘシ但他ノ費目
中剩餘アルキハ戸長ハ郡長郡長ハ縣令ノ認可
ヲ得テ之ヲ流用スルヲ得

第九條 前條補充費ヲ徵收スル場合ニ於テハ郡
長若クハ戸長ハ縣令ノ認可ヲ得テ其徵收期限
内一時其費額ノ幾分ヲ他ヨリ借入レ之ヲ支辨
スルヲ得

第十條 町村費徵收ノ期限ハ郡長之ヲ定ム

第十一條 町村費徵收科目及支辨費目ハ第一條
及第五條(原第四條)ノ如シト雖モ各町村ノ情況
ニ因リ郡長戸長之ヲ取捨スルヲ得

○乙第四百四十七號(十七年五月十九日達)

郡役所、戸長役場

町村費支出豫算議案書式別紙之通相定候條右ニ
標準施行可致此旨相違候事
明治何年度町村費支出豫算議案
一金

戸長役場諸費

内譯

金 金

諸 備 給
備 品 費

金 金 金 金 金 金 金 金

一金

內譯

消耗費

郵便電信費

運搬費

印刷費

役場新築修繕費

借家料

雜費

町會議諸費

議員旅費日當

同辦當料

書記俸給

金 金 金

一金

內譯

同旅費

營繕費

雜費

町村土木費

何々道路修築費

何々橋梁修築費

何々並木植繕費

用惡水路修築費

樋開堰埭溜池費

井堰守給料

河港費

金 金 金 金 金 金 金

一金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
雜費	村町教育費	某學校費	某幼稚園費	學務委員給料	某書籍館費	學務委員費	村町衛生費	醫員給料	衛生委員給料	內譯	內譯

一金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
雜費	掃除費	傳染病豫防費	病院修築費	需用費	醫員旅費	雇給	同職務取扱費	同旅費	災害豫防及警備費	救助費	內譯

金 金 金 金

貯穀諸費
除虫費
水火防費
夜警費

右每費目詳細説明書ヲ付スヘシ

○第廿五款 社寺

○無號(明治五年三月)

神佛混淆ス可カラサル旨度々御布告モ有之其每
度舊藩々或ハ本寺等ヨリ相違置候儀モ可有之候
處弱阪僻邑ニ至テハ未タ其意ヲ不了神佛不分明
之守札等掲置義ハ佛ノ稱號ニシテ鳥居ヲ建置候
類モ有之趣不都合ノ次第ニ候條神職僧侶相共ニ

心ヲ附速ニ改正可致候爾後不相改者於有之ハ屹
度申付候筋モ可有之候條心得違無之様管下社寺
一統ニ無洩可相違候事

○第百三十一號(六年十二月廿日達)

第一二 大區々長
三四五

近來津輕郡村々ニ於テ患病禳除ト唱ヒ新ニ路傍
ニ石造ノ佛體ヲ創立シ參拜致候由相聞候處右者
全ク妄誕無根愚夫愚婦ヲ誑カスノ流言ニシテ決
シテ懸驗等アルヘキ者ニ無之候條區戶長ニ於テ
篤相心得右等虛妄ノ流言ニ惑ハサル様毎戶懇切
ニ説諭シ自今新ニ創立之儀ハ堅ク相禁シ是迄取
立候分ハ布告到達之後十日ヲ限リ取拂ヒ其近傍

寺院ニ取纏可申候萬一不心得ノ者有之等閑之處業等有之ニ於テハ嚴重ノ處分申付候條聊心得違無之様其區限取締可致者也

○第百十六號(明治七年五月二十日達)

各大區々長

社寺境內樹木伐取之儀ニ付テハ昨六年第二百三十五號并二百九十一號御布達之趣モ有之猥ニ伐木不相成筈ニ候處往々寺院境內之樹木其堂宇修繕等ニ托シ伐採致候向モ有之哉ニ相聞以之外之事ニ候以後右御布告ニ照準シ嚴重取締可致旨內務省ヨリ御達相成候條其區內社寺院ニ可相達ハ勿論各村吏厚ク注意取締可致此段相達候也

○第百十六號(八年一月廿日達)

各大區々長

社寺舊境內現今境外ニ屬シ候場所及廢社寺跡地等前々荒蕪不毛地ヲ舊神官僧侶並ヒ平民等ニテ耕地宅地等開墾種藝ノ廉ヲ以願出ノ分其種墾區別判然不致處猶其筋ヨリ御達ノ趣モ有之ニ付自今出願ノ向ハ別紙規則ニ照準確證相添可願出尤証書無之分ト雖モ証跡判然致居其社寺神官僧侶並氏子檀中ノ内重立候者及村吏証據ニ相立候分ハ夫々所分可及候條誤解無之様深ク注意出願可爲致此旨爲心得相達候事

社寺境外上地跡處分規則

第一條

一社寺ノ資金ヲ以テ荒蕪不毛ノ地ヲ田畑宅地ニ開墾種藝セシ確證アルモノハ其社寺ノ所有地ニ願出スヘシ

第二條

一舊神宮僧侶等自己ノ資金ヲ以テ荒蕪不毛地ヲ田畑宅地ニ開墾種藝セシ確證アルモノハ其舊神宮僧侶ノ所有地ニ願出スヘシ

第三條

一舊神宮僧侶自己ノ資金ニテ買得ノ地所舊儀ニ依リ神社寺院ノ名請ニ相成居候分ハ氏子檀中重立ノ者ヨリ舊神宮僧侶自費買得相違ナキ旨証據ニ相立候分ハ其舊神宮僧侶ノ所有地ニ願

出スヘシ

第四條

一舊神宮ノ祖先寺院ノ先住職自己ノ資金ヲ以テ荒蕪不毛地ヲ開拓シ或ハ出金買得ノ田畑宅地共其社寺ニ寄附ノ姿ヲ成セシ分ハ從來舊神宮僧侶ニ於テ所有セシト雖モ其社寺ノ所有地ニ願出スヘシ

第五條

一舊神宮ノ祖先寺院先住職自己ノ資金ニテ買得田畑宅地世ニ遺物トナシ子孫或ハ後住相續人一身ニ讓渡ノ確證アル者ハ其讓請シ者ノ所有地ニ願出スヘシ

第六條

一 舊神官僧侶ノ外人民社寺へ申談ノ上荒蕪不毛地ヲ開墾是迄種藝候分ト雖モ作徳米金等其社寺へ納メ來リ全一時ノ小作人ニ候ハ、其社寺ノ所有地ニ願出スヘシ

第七條

一 舊神官僧侶ノ外人民社寺へ申談ノ上荒蕪不毛地ヲ自己ノ勞費ヲ以テ開墾致シ其社寺へ作徳米金出差シ來リ候共永小作人ニテ其實地代ヲ出シ所有候等ノ確證有之分ハ其作人ノ所有地ニ願出スヘシ

第八條

一 人民其社寺へ申談ノ上荒蕪不毛地ヲ開墾ノ節其社寺ヨリ永世地所相渡シ置等ノ確證有之貢租ニ準スル作徳米金其社寺へ差出シ來リ全ノ永小作人ニテ其社寺ノ自由ヲ不得地所ハ自己ノ勞費ヲ以開墾致シ候者ニ限リ作人ノ所有地ニ願出スヘシ

第九條

一 人民其社寺へ申談ノ上荒蕪不毛地ヲ開墾ノ節其社寺ヨリ永世地所相渡置等ノ確證候モ自己ノ勞費ヲ以テ開墾且地代等モ不差出作徳米金等社寺へ差出シ來候分ハ相當ノ代價ヲ以作人ヨリ拂下願出スヘシ

第十條

一人民社寺へ相對ノ上出金開墾ノ有無ハ不相分
永々小作致シ固有地同様從來心得居其社寺へ
作徳米金等差出シ來候分ハ相當代價ヲ以テ作
人ヨリ拂下願出スヘシ

○甲第六號(十年一月十一日布達)

山野路傍等ニ散在セル神祠佛堂處分之儀ニ付教
部省ヨリ別紙之通被相達候條一般社寺ニ比シ難
ク平素監守者無之向ハ最寄社寺ニ合併又ハ移轉
致シ別紙雛形ニ照準來ル二月廿日限り可届出尤
人民ノ信仰ニ依リ永續ノ見込有之分ハ受持神官
僧侶相定ノ來ル二月十五日迄ニ其神官僧侶連署

ヲ以テ存置シ儀可願出此旨布達候事

(別紙零ス)

○甲第九號(十年一月十七日布達)

寺院修繕其他寺用ノ爲メ一時不得止借財候者有
之節地所除稅地ヲ外建物及寄附物什器等抵當ニ書
入候向ハ法類檀家協議之上檀家二名以上連署各
本寺法類等ノ承認ヲ受ケ本寺ニ於テ右様ノ儀有
之節ハ渾テ此手續ニ隨ヒ宗内重立ノモノ二名以
上ノ承認ヲ受クヘク決シテ僧侶一己ノ私借ニ混
淆無之様可致旨昨明治九年十二月教部省ヨリ被
相達候條後來右物品書入等之節ハ前條ニ倣ヒ不
都合無之様可致此旨布達候事

○甲第五十三號(十一年五月廿三日布達)

官國幣社式社及文明十八年以前ノ創立ニ係ル社寺並公園地區書中ノ社寺ヲ除クノ外官有地ニ在ル社寺ニシテ境内外區畫決定ノ分ニ限リ該社寺ニ於テ請願候ハ、無代價下渡民有地第一種ニ組替候旨今般內務省ヨリ達相成候條爲心得此旨布達候事

○乙第二十八號(十二年一月十五日達)

郡役所

鄉村社々標ノ儀左ノ通爲書改可申此旨相達候事但書換入費之儀ハ氏子ヨリ支出致サスヘキ事

社標書式

村郷社某神社

○乙第二百廿六號(十二年七月四日達)

郡役所

大社古社並名山巨刹等ニ設置有之文庫經藏儲書取調方本年六月當縣乙第百九十四號ヲ以テ相達置候ニ共大社名山等ノ區別判然不致候ニ付其筋ニ問合候處右ハ別段意義アルニ非ス畢竟文庫經藏等ハ往々古社大寺等ニ存スルニ依リ候迄ノ義ニ付右名義ノ區別ニ拘ラス專ラ文庫經藏及ヒ儲書部數ニ制限ナシト雖モ凡ソ記載アルモノヲ目

的ニ可取調趣回答有之候條爲心得此旨相達候事
○甲第百十七號(十二年七月三十日布達)

社寺寶物古文書ハ明治十年第四十三號公布ノ通
抵當トナスヘカラサル筋ニ有之候就テハ自今社
寺ニ於テスル抵當總テ氏子檀家協議之書面ヲ以
テ一應當廳ニ申出可受調査儀ト心得ヘシ此旨相
達候事

○乙第九十四號(十三年五月三日達) 各郡役所

神社寺院移轉並ニ復社寺号改稱願等明細帳ニ異
動有之分ハ明治十二年六月内務省乙第三十一號
達書式ニ準シ必ス明細書添可爲願出此旨相達候
事

○乙第百九十六號(十五年八月十五日示達)

郡役所

社寺境内樹木之儀近來修繕之爲メ多分之伐採願
出候向ニ有之候處社寺境内ハ修繕用材培植之地
ニ無之數百年來之古木一朝地ヲ拂ヒ遂ニ風致ヲ
損スル廉モ不少候條自今請願者有之節ハ不得止
分ニ限リ別紙概則ニ照シ可取扱此旨示達候事
但民有地ノ向モ本文ノ振合ヲ以取扱フ可シ

○甲第百六十二號(十五年十一月一日布達)

官林並社寺上地林之木竹及右被害之木竹並ニ遺
材ニ係ル分共拂下サル場合ハ勿論見繼山伐木之
際ト雖モ當所ノ許可ヲ得サル上更ニ現物引渡檢

受クヘキ管ニシテ是迄都度願書ヘモ及指令來候
〜共往々心得違ノモノ有之不都合不勘右ハ拂下
及見繼山伐木共當所ノ引渡檢印ヲ受ケスシテ擅
ニ其木竹ヲ伐採シ及ヒ造材ヲ他ヘ運搬スルヲ許
サ、〜旨農商務省青森山林事務所ヨリ照會ノ次
第モ有之候條以優心得違無之様致スヘシ
右布達候事

○甲第百六十九號(十五年十一月廿一日布達)

神社寺院等創立再興復舊許可ノ分ハ今後滿二年
以内ニ建設スヘク其建物巨大ニシテ工事數年ニ
涉ル可キ者ハ更ニ具狀許可ヲ受クヘシ其他在來
ノ社寺ニシテ變災ニ遭ヒ建物悉皆烏有ニ歸スル

者ハ滿五年ニ再建スヘシ右期限ヲ過キ建設セシ
ル者ハ許可ヲ停メ社寺明細帳ヲ削除ス
右布達候事

○甲第百七十四號(十五年十二月十九日布達)

社寺上地林ノ内先住職自費及社寺資金ヲ以テ栽
培ノ向ハ目下生立木無代價下與相成候分モ有之
右ハ自今伐採及小切ハ勿論柁木舞共都ヲ官林木
拂受ノ手續ニ準シ當所ヘ出願檢印可受旨農商務
省青森山林事務所ヨリ照會越候條心得違無之様
致スヘシ

右布達候事

○乙第百一十一號(十七年四月九日達)

郡役所、戸長役場

社寺總代ノ儀ニ付テハ明治十四年當縣甲第二百零六號ヲ以布達候處未ク撰定不届出向有之哉ニ相聞不都合ニ候條至急撰定届出サスヘシ此旨相達候事
(甲第二百零六號ハ收税ノ部ニ掲クルヲ以テ略ス)

參照(明治四年六月十七日布告)

由緒ノ有無ニ不抱皇族ノ外菊紋一切禁止ス
同五年十二月日第三百九十八號布告
神社佛閣ノ地ニ在リシ女人結界ノ場所ヲ廢シ
勝手ニ登山ヲ許ス

○第廿六款 祭典葬儀

○第百六十一號(明治七年七月達)

各大區々長

當縣國幣小社岩木山神社神官ヨリ別紙之通申出候ニ付此段爲心得相達候條每戸無洩可觸示候也
(別紙)

國幣社申觸

一當社之義從前他州人ハ勿論舊藩内人ニ祭日之外ハ容易ニ參拜不相成候得共去年國幣社被列候上ハ本縣管内ハ申迄モ無之諸方旅人ニ至ル迄平日參拜勝手次第ニ候事
一從前平日ハ一人參詣毎ニ拜殿外扉開閉致シ來候處今後ハ終日開扉候間隨意可被致候事
一登山ハ六月ヨリ九月マテ差支無之候得共無案